

令和 6 年度

事業年報

一般社団法人鶴岡地区医師会
荘内地区健康管理センター

目 次

[1] 概要	1
[2] 令和6年度事業実績	
(1) 医師の診察回数	4
(2) 各種健診別受診者数の年次推移と本年度の月別受診者数	5
(3) 各種健診	
1) 人間ドック	6
2) 全国健康保険協会 生活習慣病予防健診	8
3) 定期健康診断（労働安全衛生法に基づく）	10
4) 特定健康診査	12
5) 後期高齢者健康診査	13
6) 若年者健康診査	14
(4) 特定保健指導	15
(5) 呼吸器検診	17
(6) がん検診	18
1) 胃がん検診	19
付) 胃の健康度診断（ヘリコバクターピロリ血清抗体・血清ペプシノゲン）	21
2) 大腸がん検診	23
3) 肺がん検診	25
付) C T肺がん検診	28
4) 乳がん検診	30
付) 乳房超音波検査	32
5) 子宮がん検診	33
6) 前立腺がん検診	35
(7) 腹部超音波検査	37
(8) 循環器系検査	
1) 心電図検査	38
2) 眼底検査	39
(9) 糖尿病精密検査	40

(10) オプション検査	
1) BNP検査	41
2) 頸動脈超音波検査	42
3) 骨粗しょう症検診（骨密度測定）	43
4) CT内臓脂肪測定	44
5) 甲状腺ホルモン検査（TSH・FT4）	45
6) 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査（Lox-index）	46
7) アレルギー検査（MAST48mix）	46
(11) 運動指導	46
(12) 学生健診	47
(13) 一般健康診断（クリニック）	49
(14) ストレスチェック	49
(15) 風しん抗体検査	49
(16) 受託検査	
1) 一般臨床検査	50
2) 共同利用検査	52
3) 放射線漏洩線量測定	52
4) 乳幼児健康診査	52
(17) 臨床検査精度管理調査	52
[3] 令和6年度トピックス	53
[4] 令和6年度学術活動業績報告	53
[5] 鶴岡地区医師会 関連施設	54

[1] 概 要

一般社団法人 鶴岡地区医師会 沿革

大正 13 年 12 月	鶴岡市医師会設立
昭和 22 年 12 月	社団法人鶴岡市医師会設立
昭和 28 年 7 月	鶴岡医師会館 増改築完成
昭和 30 年 3 月	西田川郡医師会 鶴岡市医師会へ合併 鶴岡市西田川郡医師会と改称
昭和 34 年 3 月	鶴岡准看護学院開設
昭和 44 年 4 月	臨床検査センター開設
昭和 48 年 4 月	東田川郡医師会の一部を合併 鶴岡地区医師会と改称
昭和 59 年 4 月	荘内地区健康管理センター開設
平成 8 年 4 月	訪問看護ステーションハローナース開設
平成 12 年 4 月	在宅サービスセンター開設 訪問リハビリテーション事業および訪問入浴事業開始
平成 13 年 3 月	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院の管理・運営受託
平成 14 年 1 月	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院デイケア開設
平成 17 年 5 月	介護老人保健施設みずばしょう開設
平成 17 年 11 月	ケアプランセンターふきのとう開設
平成 18 年 4 月	在宅介護支援センターふきのとう開設
平成 21 年 4 月	地域包括支援センターつくし開設
平成 23 年 4 月	新荘内地区健康管理センター開設 鶴岡地区医師会館改修工事完成
平成 25 年 4 月	一般社団法人鶴岡地区医師会と改称 地域医療連携事業開始
令和 5 年 3 月	鶴岡准看護学院閉校

一般社団法人 鶴岡地区医師会

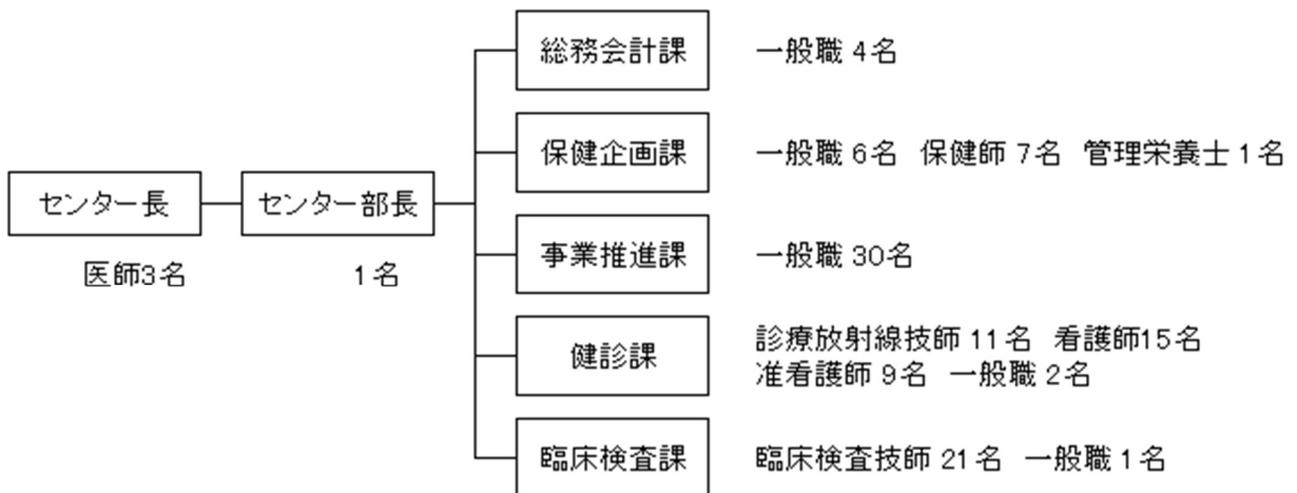
荘内地区健康管理センター



所在地	〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町 1-45			
連絡先	電話番号	0235-22-6445	FAX 番号	0235-25-2216
ホームページアドレス	https://tsuruoka-k2c.jp/			
メールアドレス	kenshin@tsuruoka-med.jp			

組織・職員構成

R6. 4. 1 現在



総人数 111名
※臨時・パートを含む

主な設備

R6.4.1 現在

品目	数	品目	数	品目	数
胸部撮影装置 施設内	1	超音波診断装置	5	グリコヘモグロビン分析装置	2
胸部撮影装置 検診車	2	血圧脈波検査装置	1	全自動尿分析装置	1
胃部撮影装置 施設内	3	尿分析器	2	顕微鏡	3
胃部撮影装置 検診車	2	体脂肪計	2	超音波洗浄器	1
乳房撮影装置	2	体成分分析器	1	検体前処理分注装置	1
CT装置	1	自動身長計付体組成計	1	定温乾燥器	1
ポータブルX線撮影装置	1	デジタル身長計	1	遠心機	4
骨密度測定装置	1	身長・体重計	2	超低温フリーザー	1
眼圧計	1	体重計	2		
眼底カメラ 施設内	1	自動採血管準備装置	1		
眼底カメラ 検診車	2	乾熱滅菌器	1		
聴力計	4	生化学自動分析装置	2		
視力計	6	全自動化学発光酵素免疫装置	1		
自動血圧計	6	多項目自動血球分析装置	2		
自動解析付心電計	6	便潜血測定装置	1		
オートスパイロメータ	1	グルコース分析装置	2		

車両配置

R6.4.1 現在

車名	台数	車名	台数
循環器検診車	1	ポータブルX線撮影装置運搬用車	1
胸部X線検診車	1	送迎車マイクロバス	1
胃部X線検診車	1	集配車	3
胸部・胃部X線併用検診車	1	社用車	3
除雪車	1		

[2] 令和6年度事業実績

はじめに

令和6年度は、前年度から引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人間ドック学会を含む健診8団体で作成した「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策」をもとに基本的な感染対策を行いながら健診を実施した。

(1) 医師の診察回数

本年度、医師の診察を伴う各種健診は290日間で1,397回行われた。

診察担当医師の内訳は、センター医師3名による936回、病院と診療所の医師24名による461回であった。

健診種目別、時間帯別、回数の内訳は表1のとおりである。

表1 令和6年度各健診実施回数および医師診察回数

単位：回

区 分		早朝	午前	午後	計
施 設 外	特定健康診査	92	1	41	134
	事業所健診	60	15	34	109
	若年者健康診査	0	3	7	10
施 設 内	人間ドック・協会けんぽ健診	84	484	0	568
	特定健康診査	3	8	8	19
	事業所健診	37	17	144	198
	若年者健康診査	0	0	1	1
	子宮がん検診	45	272	17	334
	一般健康診断	0	0	24	24
合 計		321	800	276	1,397

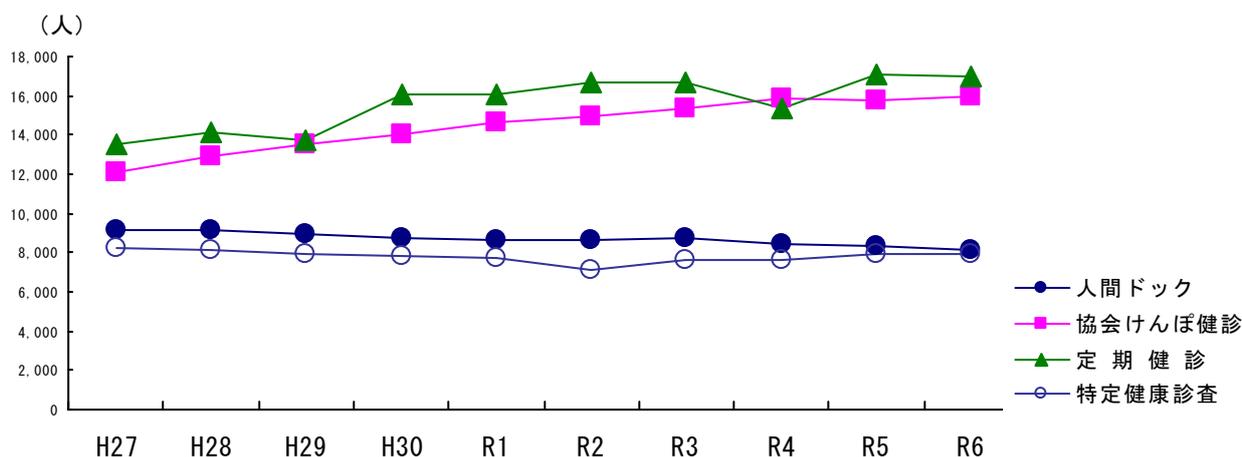
(2) 各種健診別受診者数の年次推移と本年度の月別受診者数

健診別受診者数の年次推移

単位：人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人間ドック	9,150	9,187	8,907	8,727	8,663	8,598	8,739	8,481	8,338	8,148
協会けんぽ生活習慣病予防健診	12,103	12,929	13,537	14,031	14,617	14,906	15,342	15,846	15,756	15,937
定期健康診断	13,558	14,093	13,709	16,030	16,244	16,641	16,661	16,692	17,068	17,027
特定健康診査 後期高齢者健診	8,224	8,114	7,914	7,837	7,761	7,168	7,623	7,674	7,973	7,980
合計	43,035	44,323	44,067	46,625	47,285	47,313	48,365	48,693	49,135	49,092

平成30年度より定期健康診断に『特定業務従事者健診』を加えた



令和6年度 健診別月別受診者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人間ドック	1,197	930	854	969	754	718	762	497	707	336	273	151	8,148
協会けんぽ生活習慣病予防健診	654	1,067	1,722	1,573	1,303	1,848	2,113	1,776	1,084	1,146	1,216	435	15,937
定期健康診断	1,041	1,866	2,056	1,352	2,029	2,084	1,775	1,146	798	656	779	1,445	17,027
特定健康診査 後期高齢者健診	1,005	707	920	1,424	518	576	716	1,055	515	214	320	10	7,980

(3) 各種健診

1) 人間ドック

人間ドックの対象者は地域住民（鶴岡市・三川町）と事業所（職域）の従業員などである。

本年度の受診者数は8,148人（男性3,970人、女性4,178人）で、前年度の8,338人より190人減少した。その内訳は、地域住民の受診者数は6,314人で、前年度の6,523人より209人減少し、職域・その他の受診者数は1,834人で、前年度の1,815人より19人増加した。

表1 地域・職域別受診者数

単位：人

		男性	女性	合計
地域住民	鶴岡市	2,618	3,143	5,761
	三川町	253	300	553
職域・その他		1,099	735	1,834
合計		3,970	4,178	8,148

図1 年代別受診者数

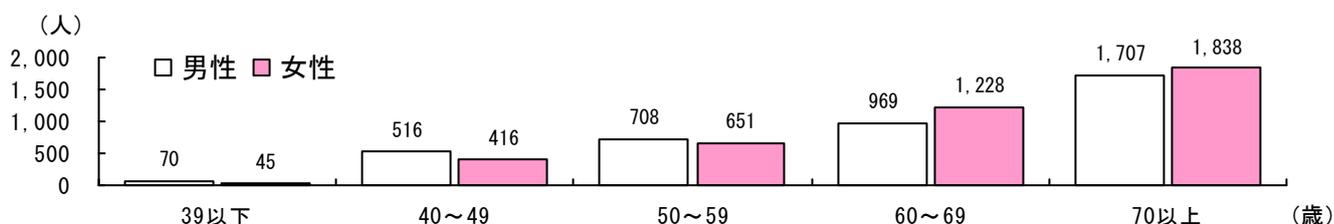


表2 人間ドックの検査項目

内科診察	医師による打聴診等の診察
身体計測	身長・体重・BMI・腹囲
眼科検査	視力検査・眼圧検査
聴力検査	自動オーディオメータ
呼吸器系	胸部エックス線検査(2方向)・肺機能検査
循環器系	心電図検査・眼底検査(両眼)・血圧測定
肝・すい臓検査	AST・ALT・γ-GT・ALP・総ビリルビン・HBs抗原・アマラーゼ
脂質検査	総コレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール
代謝系	総蛋白・アルブミン・空腹時血糖・尿糖・ヘモグロビンA1c・尿酸
腎尿路系	尿蛋白・尿潜血・尿沈渣・クレアチニン・eGFR・尿比重・PH
血液一般	赤血球数・白血球数・血色素量・血小板数・末梢血液像・ヘマトクリット・MCV・MCH・MCHC RF・CRP・血液型(ABO・Rh)：初回のみ
消化器系	胃部エックス線検査・便潜血反応(2日法)
子宮がん検診	視診・内診・子宮頸部細胞診検査
乳がん検診	マンモグラフィ
オプション項目	CT肺がん検診
	CT内臓脂肪測定
	腹部超音波検査 ※職域ドックは含まれる
	前立腺がん検査(PSA血液検査)
	乳房超音波検査(乳がん検診への追加)
	骨粗しょう症検診(DEXA法・骨密度測定)
	BNP検査(心臓の状態をみる血液検査)
	喀痰細胞診検査(蓄痰3日法)
	胃の健康度診断(ヘリコバクターピロリ血清抗体・血清ペプシノゲン)
	血圧脈波検査
	C型肝炎ウイルス検査
	甲状腺ホルモン検査(TSH・FT4)

表3 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受診者数		異常なし (A)		わずかな異常 (B)		要観察 (C)		要精検 (D、E)		治療中 (F)		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
身体計測	8,148	3,970	4,178	2,055	2,614	0	0	1,915	1,564	0	0	0	0
血 圧	8,148	3,970	4,178	1,267	1,718	0	0	431	456	530	554	1,742	1,450
眼科検査	7,702	3,815	3,887	2,238	2,275	0	0	4	3	1,119	887	454	722
眼 底	7,640	3,789	3,851	3,325	3,472	108	88	21	29	248	174	87	88
聴 力	6,659	3,174	3,485	1,969	2,766	0	0	150	139	1,038	551	17	29
肺機能	1,686	969	717	829	670	0	0	80	14	40	20	20	13
腎・尿路	8,148	3,970	4,178	2,406	2,340	363	425	665	695	441	616	95	102
肝・すい臓	8,148	3,970	4,178	1,625	2,619	0	4	1,573	1,256	713	259	59	40
脂 質	8,148	3,970	4,178	1,018	882	0	0	1,128	860	894	1,035	930	1,401
代謝系	8,148	3,970	4,178	514	844	85	34	2,105	2,795	292	176	974	329
血液一般	8,148	3,970	4,178	2,331	2,726	804	601	410	448	402	343	23	60
心電図	8,135	3,966	4,169	2,304	2,818	729	589	131	42	410	540	392	180

表4 オプション検査別年次推移受診者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
CT肺がん検診	612	568	561	449	448
CT内臓脂肪測定	502	461	402	2,395	280
腹部超音波検査	4,317	4,333	3,461	3,972	3,876
前立腺がん検査	1,204	1,230	1,241	1,112	1,126
乳がん検診	3,078	2,992	2,852	2,777	2,716
乳房超音波検査	102	89	78	66	70
子宮がん検診	3,086	3,093	2,936	2,865	2,745
骨粗しょう症検診	1,059	1,097	1,041	2,844	875
BNP検査	786	820	767	599	575
喀痰検査	45	51	50	42	34
胃の健康度診断	482	200	159	126	124
血圧脈波検査	372	339	236	318	0
C型肝炎ウイルス検査	80	59	74	51	40
甲状腺ホルモン検査	362	376	345	232	214

2) 全国健康保険協会 生活習慣病予防健診

本年度の受診者数は15,937人で、前年度の15,756人より181人増加した。1,820事業所が受診し、78事業所が新規に本健診を受診した。そのうち検診車による巡回健診の受診者数は789人で、前年度の744人より45人増加した。

若年者を対象にした子宮がん検診の本年度の受診者は336人で、前年度の358人より22人減少した。

表1 健診種別受診者数

単位：人

	男性	女性	合計
一般健診（35歳以上）	7,151	6,478	13,629
付加健診（40歳～70歳まで5歳刻み）	946	1,026	1,972
子宮がん単独検診（20歳～38歳）		336	336
合計	8,097	7,840	15,937

図1 年代別受診者数

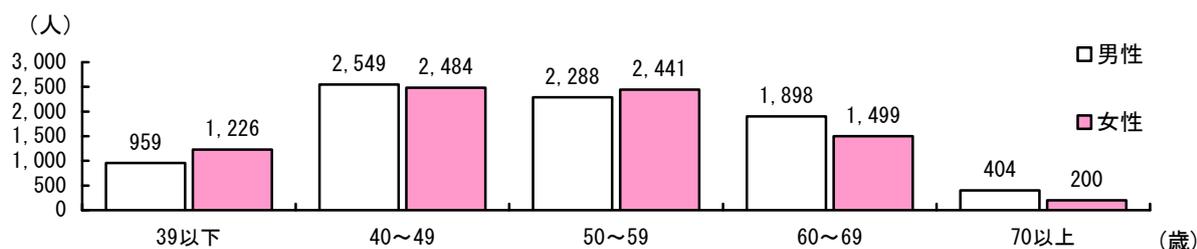


表2 一般健診および付加健診の検査項目

一般健診	内科診察	医師による打聴診等の診察
	身体計測	身長・体重・BMI・腹囲
	視力検査	
	聴力検査	自動オーディオメータ
	呼吸器系	胸部エックス線検査（直接撮影）
	循環器系	心電図検査・血圧測定
	肝機能検査	AST・ALT・γ-GT・ALP
	代謝系	総コレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール 空腹時血糖・尿糖（空腹時）・尿酸
	消化器系	胃部エックス線検査（直接撮影）・便潜血反応（2日法）
	腎尿路系	尿蛋白・尿潜血・クレアチニン・eGFR
血液一般	赤血球数・白血球数・血色素量・ヘマトクリット	
付加健診 （当該年度40歳～70歳 まで5歳刻みの希望者）	一般健診項目 眼底検査（両眼）・肺機能検査・腹部超音波検査・尿沈渣 血小板数・末梢血液像・総蛋白・アルブミン・総ビリルビン アミラーゼ・LD	

表3 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受診者数		異常なし (1)		わずかな異常 (2)		要観察 (3)		要精検 (4,5)		治療中 (6)		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
身体計測	15,611	8,096	7,515	3,967	4,719	0	0	4,129	2,796	0	0	0	0
視力	15,574	8,084	7,490	6,189	5,882	0	0	7	7	1,600	1,241	288	360
聴力	15,571	8,074	7,497	6,292	6,972	0	0	230	112	1,525	368	27	45
血圧	15,612	8,097	7,515	3,495	4,624	0	0	1,032	757	1,442	958	2,128	1,176
脂質	15,611	8,097	7,514	2,214	2,689	0	0	2,343	1,891	2,475	1,922	1,065	1,012
肝機能等	15,611	8,097	7,514	3,927	5,735	6	12	2,535	1,366	1,542	354	87	47
血糖	15,612	8,097	7,515	3,797	5,540	2	2	3,267	1,633	361	108	670	232
尿酸	15,611	8,097	7,514	5,809	7,338	1,084	108	407	45	119	3	678	20
腎・尿路	15,612	8,097	7,515	6,352	5,209	409	700	707	738	541	820	88	48
血液一般	15,611	8,097	7,514	6,686	5,591	375	241	503	776	515	736	18	170
心電図	15,609	8,097	7,512	5,741	5,781	1,306	999	138	43	634	553	278	136
眼底	3,333	1,688	1,645	1,543	1,564	16	6	10	7	102	58	17	10
肺機能	2,302	1,171	1,131	1,005	1,059	0	0	83	15	65	35	18	22

表4 オプション検査別年次推移受診者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
CT肺がん検診	466	459	454	402	441
CT内臓脂肪測定	433	431	387	513	737
腹部超音波検査	3,550	3,439	3,598	3,597	4,409
前立腺がん検査	939	967	1,036	980	989
乳がん検診	3,981	4,058	4,114	4,102	4,093
乳房超音波検査	840	819	725	605	611
子宮がん検診	3,647	3,750	3,772	3,736	3,385
骨粗しょう症検診	483	442	431	564	780
BNP検査	790	888	811	729	741
喀痰検査	25	27	32	33	30
胃の健康度診断	1,072	391	301	267	269
血圧脈波検査	326	339	153	342	0
肝炎ウイルス検査(協会)	323	239	202	127	208
甲状腺ホルモン検査	550	509	503	429	437

3) 定期健康診断（労働安全衛生法に基づく）

本年度の実施事業所数は1,505で、その中で新規事業所数は92であった。

受診者数は17,027人で、前年度の17,068人より41人減少した。

なお受診者の職種によっては有機溶剤健康診断や鉛健康診断などの特殊健康診断を実施している。その内容については表4に示した。

表1 健診種別受診者数

単位：人

	男性	女性	合計
定期A健診	683	621	1,304
定期B健診	2,955	3,008	5,963
定期C健診	1,961	2,001	3,962
総合健診	1,052	1,633	2,685
特定業務従事者健診	1,859	1,254	3,113
合計	8,510	8,517	17,027

図1 年代別受診者数

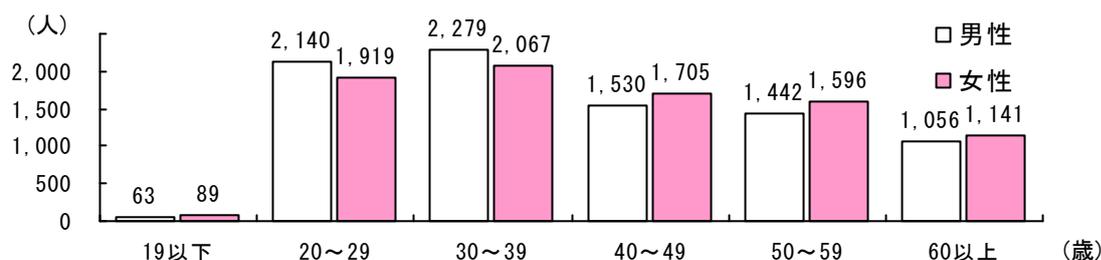


表2 定期健康診断検査項目

定期A健診	内科診察・問診（既往歴及び業務歴調査）・身体計測（身長、体重、BMI） 血圧測定・視力検査・聴力検査・尿検査（糖・蛋白）・胸部エックス線検査
定期B健診	定期A健診項目 脂質検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール） 肝機能（AST、ALT、γ-GT）・血液一般（赤血球数、血色（歳） 血糖・心電図・腹囲測定（BMI 20以上で測定）
定期C健診	定期B健診項目・ヘモグロビンA1c ※腹囲測定は全員測定
総合健診	健康保険組合、共済組合等で定期健診にがん検診等が追加されている健診
特定業務従事者健診	内科診察・問診（既往歴及び業務歴調査）・身体計測（身長、体重、BMI） 血圧測定・視力検査・聴力検査・尿検査（糖・蛋白） 脂質検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール） 肝機能（AST、ALT、γ-GT）・血液一般（赤血球数、血色素量） 血糖・心電図・腹囲測定

表3 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受診者数		異常なし (A)		わずかな異常 (B)		要観察 (C)		要精検 (D、E)		治療中 (F)		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
身体計測	17,021	8,505	8,516	4,598	5,567	0	0	3,907	2,949	0	0	0	0
視力	16,636	8,288	8,348	6,624	6,699	0	0	3	1	1,483	1,405	178	243
聴力	16,616	8,276	8,340	7,421	7,961	0	0	93	63	742	280	20	36
血圧	17,024	8,507	8,517	4,811	6,166	0	0	1,281	774	1,298	795	1,117	782
脂質	15,810	7,866	7,944	3,291	4,162	0	0	2,128	1,744	1,885	1,467	562	571
肝機能等	15,456	7,604	7,852	4,201	6,418	31	99	2,015	985	1,316	335	41	15
糖検査	17,016	8,503	8,513	5,567	6,077	10	4	2,270	2,134	285	126	371	172
尿酸	6,092	2,863	3,229	2,094	3,159	411	39	137	28	33	0	188	3
腎・尿路	17,014	8,502	8,512	7,874	7,742	31	41	296	337	238	355	63	37
血液一般	15,681	7,758	7,923	7,075	6,170	150	119	258	900	260	599	15	135
心電図	14,430	7,011	7,419	5,435	5,946	927	915	77	38	443	459	129	61
眼底	4,109	1,686	2,423	1,584	2,316	9	6	0	3	76	72	17	26

表4 特殊健康診断実施状況（延べ人数） 単位：人

	受診者数
有機溶剤健康診断	1,304
鉛健康診断	291
特定化学物質健康診断	1,621
じん肺健康診断	401
石綿健康診断	502
騒音健康診断	212
電離放射線健康診断	393

4) 特定健康診査

特定健康診査は、40歳から74歳の間ドック・生活習慣病予防健診の中でも実施しているが、ここでは巡回健診等の実施状況について表1、表2に示した。

本年度の受診者数は4,991人で前年度の5,153人より162人減少した。

表1 年代別受診者数

単位：人

	男 性	女 性	受診者数
40～49歳	229	337	566
50～59歳	240	453	693
60～69歳	712	1,164	1,876
70～74歳	774	1,082	1,856
合 計	1,955	3,036	4,991

表2 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受 診 者 数		異常なし (A)		わずかな異常 (B)		要観察 (C)		要精検 (D、E)		治療中 (F)		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
身体計測	4,991	1,955	3,036	1,003	2,219	0	0	952	817	0	0	0	0
血 圧	4,991	1,955	3,036	544	1,210	0	0	208	344	397	573	806	909
脂 質	4,991	1,955	3,036	662	816	0	0	521	681	438	773	334	766
肝 機 能	4,991	1,955	3,036	1,161	2,503	0	0	508	385	256	121	30	27
糖 検 査	4,991	1,955	3,036	853	1,558	2	2	712	1,225	111	81	277	170
尿 検 査	4,990	1,954	3,036	1,831	2,948	0	0	47	33	32	15	44	40
貧 血	4,636	1,877	2,759	1,532	2,284	0	0	159	324	176	124	10	27
心 電 図	4,572	1,869	2,703	1,121	1,872	328	364	45	17	249	378	126	72
眼 底	3,930	1,670	2,260	1,536	2,094	13	23	4	17	111	113	6	13
腎 機 能	4,271	1,843	2,428	1,453	1,925	0	0	239	266	142	231	9	6

表3 特定健康診査検査項目

基本的な 健診の項目	理学的検査・身長・体重・BMI・腹囲・血圧 肝機能検査 (AST・ALT・γ-GT) 血中脂質検査 (中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール) 血糖検査 (空腹時) 又は ヘモグロビンA1c検査 尿検査 (糖・蛋白)
詳細な 健診の項目	貧血検査 (赤血球・血色素量・ヘマトクリット) 心電図検査、眼底検査 (両眼)、クレアチニン (eGFR)

5) 後期高齢者健康診査

後期高齢者健康診査は、センター内では人間ドックの中でも実施しているが、ここでは巡回健診での実施状況について表1、表2に示した。

なお本年度の受診者数は2,989人で前年度の2,820人より169人増加した。

表1 年代別受診者数

単位：人

	男 性	女 性	受診者数
65～74 歳	27	23	50
75～79 歳	515	778	1,293
80 歳以上	624	1,022	1,646
合 計	1,166	1,823	2,989

表2 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受 診 者 数		異常なし (A)		わずかな異常 (B)		要観察 (C)		要精検 (D、E)		治療中 (F)		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
身体計測	2,988	1,166	1,822	809	1,339	0	0	357	483	0	0	0	0
血 圧	2,988	1,166	1,822	216	297	0	0	103	172	162	323	685	1,030
脂 質	2,987	1,165	1,822	556	496	0	0	269	364	135	307	205	655
肝 機 能	2,987	1,165	1,822	816	1,578	0	0	261	204	70	19	18	21
糖 検 査	2,988	1,165	1,823	382	720	3	2	487	835	101	92	192	174
尿 検 査	2,978	1,162	1,816	1,043	1,688	0	0	45	50	30	34	44	44
貧 血	2,985	1,165	1,820	721	1,246	0	0	185	395	246	147	13	32
心 電 図	2,934	1,145	1,789	422	922	227	307	58	36	280	379	158	145
眼 底	1,872	795	1,077	679	949	37	40	6	4	65	76	8	8
腎 機 能	2,987	1,165	1,822	687	1,046	0	0	306	428	164	343	8	5

6) 若年者健康診査

40歳未満の鶴岡市・三川町在住者を対象として実施している。
本年度の受診者数は687人で、前年度の709人より22人減少した。

表1 年代別受診者数

単位：人

	男 性	女 性	受診者数
～19歳	4	1	5
20～24歳	38	18	56
25～29歳	44	49	93
30～34歳	95	111	206
35～39歳	134	193	327
合 計	315	372	687

表2 各検査の受診者数と判定区分

単位：人

	受 診 者 数	異常なし (A)		わずかな異常 (B)		要観察 (C)		要精検 (D、E)		治療中 (F)			
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
身体計測	687	315	372	177	272	0	0	138	100	0	0	0	0
血 圧	687	315	372	191	312	0	0	52	24	54	31	18	5
脂 質	684	314	370	152	238	0	0	80	87	74	44	8	1
肝 機 能	684	314	370	171	319	0	0	84	38	57	13	2	0
糖 検 査	687	315	372	216	288	1	0	82	78	7	5	9	1
尿 検 査	687	315	372	302	364	0	0	6	6	5	2	2	0
貧 血	684	314	370	301	283	0	0	7	56	6	27	0	4
心 電 図	687	315	372	247	297	39	38	0	2	28	33	1	2
眼 底	37	17	20	17	20	0	0	0	0	0	0	0	0
腎 機 能	684	314	370	310	360	0	0	0	0	4	10	0	0

表3 検査項目

検査項目	理学的検査・身長・体重・BMI・腹囲・血圧 肝機能検査 (AST・ALT・γ-GT) 血中脂質検査 (中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール) 血糖検査 (空腹時) 又は ヘモグロビンA1c検査 尿検査 (糖・蛋白) 貧血検査 (赤血球・血色素量・ヘマトクリット) 心電図検査、眼底検査 (両眼)、クレアチニン (eGFR)
------	---

(4) 特定保健指導

本年度の特定保健指導初回面接実施者数は1,348人で、前年度の1,301人より47人増加した。

特定保健指導実施状況を表1に示した。支援レベル別では動機づけ支援が805人、積極的支援が543人であった。評価のできた者は動機付け支援が797人(99.4%)、積極的支援が301人(55.4%)であった。

令和6年より第4期特定保健指導の評価体系の見直しが行われ、概要を表2に示した。評価ができた者の腹囲・体重の変化、改善率を表3に示した。体重の改善率、腹囲の改善率、2kg2cmのアウトカム評価ともに、動機付け支援より積極的支援の方が高い結果となった。

評価時に希望者に対し血液検査等（フォローアップ健診）を実施した。本年度の受診者数は227人（男性139人、女性88人）であった。

表1 特定保健指導実施状況

単位：人

区分		特定保健指導初回面接実施者数											
		鶴岡市・三川町国保			協会けんぽ			その他健保組合			動機付け支援合計	積極的支援合計	合計
		動機付け支援	積極的支援	計	動機付け支援	積極的支援	計	動機付け支援	積極的支援	計			
男性	40～44歳	5	10	15	47	74	121	9	12	21	61	96	157
	45～49歳	11	12	23	37	60	97	5	8	13	53	80	133
	50～54歳	8	7	15	32	78	110	9	17	26	49	102	151
	55～59歳	9	15	24	24	39	63	4	12	16	37	66	103
	60～64歳	9	12	21	20	28	48	3	9	12	32	49	81
	65～69歳	53	0	53	30	0	30	2	0	2	85	0	85
	70～74歳	49	0	49	17	0	17	0	0	0	66	0	66
	計	144	56	200	207	279	486	32	58	90	383	393	776
女性	40～44歳	4	3	7	50	19	69	8	1	9	62	23	85
	45～49歳	11	3	14	64	24	88	9	7	16	84	34	118
	50～54歳	3	5	8	58	33	91	11	9	20	72	47	119
	55～59歳	5	1	6	34	22	56	8	3	11	47	26	73
	60～64歳	7	3	10	30	14	44	10	3	13	47	20	67
	65～69歳	28	0	28	20	0	20	6	0	6	54	0	54
	70～74歳	43	0	43	6	0	6	7	0	7	56	0	56
	計	101	15	116	262	112	374	59	23	82	422	150	572
合計		245	71	316	469	391	860	91	81	172	805	543	1,348
										評価実施数	797	301	925
										(%)	(99.4)	(55.4)	(71.1)

※初回面接時の個別支援のみの依頼があり、4人に実施した。

表2 第4期特定保健指導見直しの概要

成果を重視した特定保健指導の評価体系
・腹囲 2cm・体重 2kg 減を達成した場合には、保健指導の介入量を問わずに特定保健指導終了とする等成果が出たことを評価する(アウトカム評価の導入)
・行動変容や腹囲 1cm・体重 1kg 減のアウトカム評価と、保健指導の介入を組み合わせたプロセス評価により特定保健指導を評価する

表3 特定保健指導改善状況

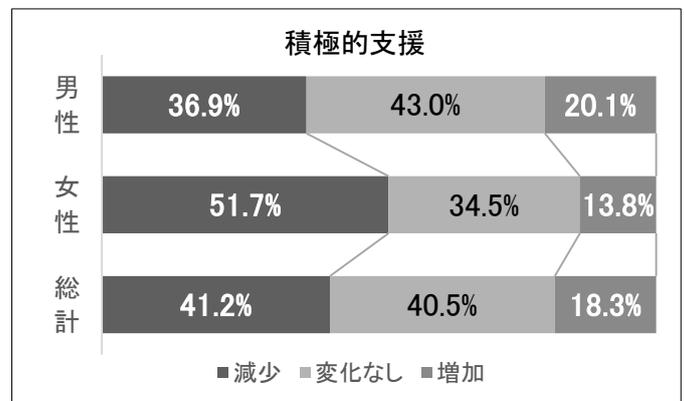
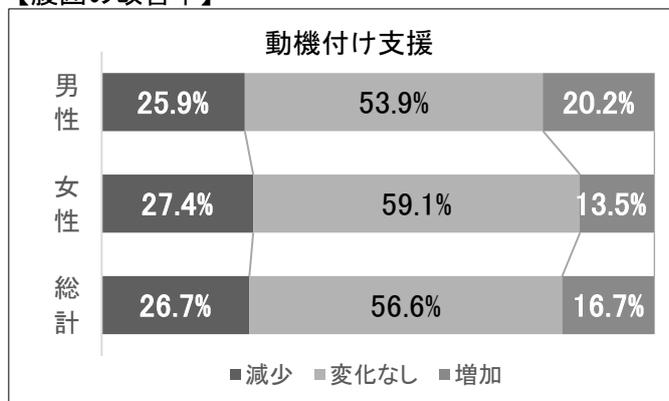
【腹囲、体重の変化】

	腹囲	体重
動機付け支援	-0.3cm	-0.3kg
積極的支援	-0.8cm	-0.8kg

【特定保健指導受講中に 2kg2cm を達成した受診者の割合】

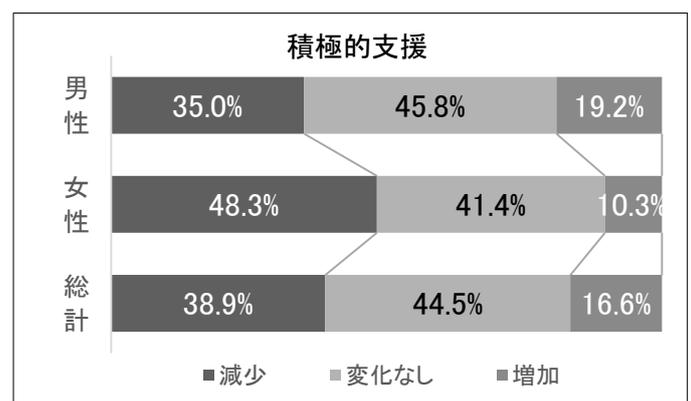
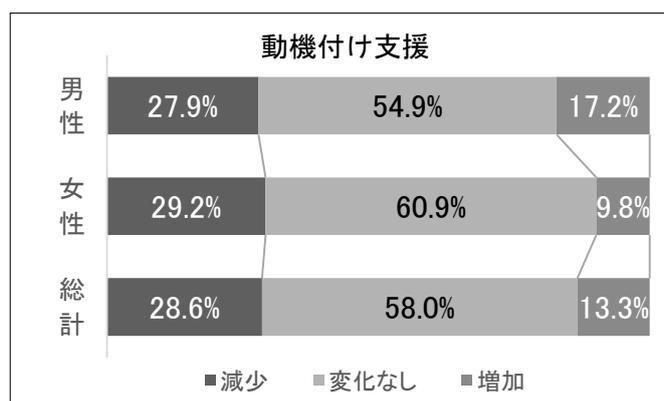
	男性	女性	総計
動機付け支援	11.4%	9.5%	10.0%
積極的支援	14.0%	20.8%	15.0%

【腹囲の改善率】



※減少 ≤ -1.1 cm 変化なし ±1.0 cm 増加 ≥ 1.1 cm とした

【体重の改善率】



※減少 ≤ -1.1 kg 変化なし ±1.0 kg 増加 ≥ 1.1 kg とした

(5) 呼吸器検診

山形県医師会の呼吸器検診中央委員会の規定によると、「呼吸器検診」は、健康増進法に基づく肺がん検診、感染症法に基づく結核健診、労働安全衛生法に基づく定期健康診断の対象者に行うこととされている。本項でもこれに準じ、後述の「肺がん検診」の受診者も含めた報告とする。

本年度の受診者数は46,970人で、前年度の47,073人より103人減少した。

表1に健診区分別の内訳を示した。要精検者数は1,145人（要精検率2.4%）、精検受診者数は869人（精検受診率75.9%）であった。肺がん発見数は20人で、一般住民から16人、職域・その他から3人、福祉施設等の入居者から1人発見された。

図1に男女別の年代別受診者数・がん発見率を示した。

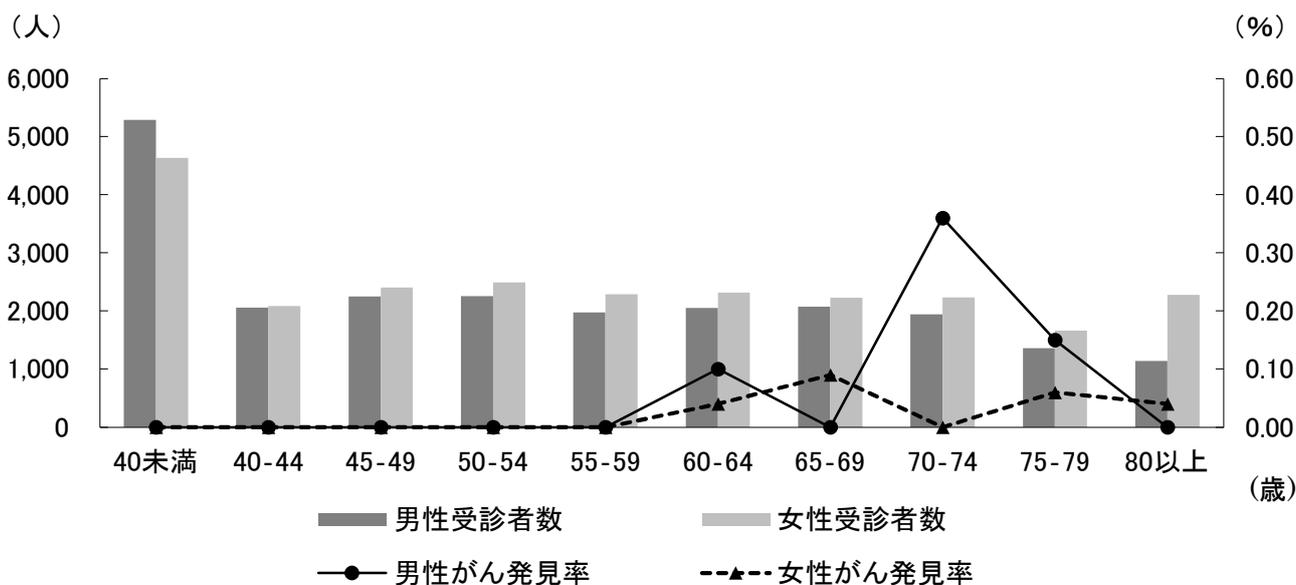
表1 健診区分別の内訳

単位：人（）内%

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
一般住民	14,011	542 (3.9)	463 (85.4)	16 (0.11)
職域・その他	30,664	422 (1.4)	319 (75.6)	3 (0.01)
福祉施設等の入居者※	1,437	178 (12.4)	85 (47.8)	1 (0.07)
学童・生徒	858	3 (0.3)	2 (66.7)	0 (0.00)
合計	46,970	1,145 (2.4)	869 (75.9)	20 (0.04)

※福祉施設等の入居者のうち798人はポータブル撮影を行った。

図1 男女別の年代別受診者数・がん発見率



(6) がん検診

臓器別受診者数の年次推移と臓器別がん発見数の年次推移は表 1、表 2 のとおりである。

表 1 臓器別受診者数の年次推移

単位：人

	胃がん 検診	大腸がん 検診	肺がん検診		乳がん検診		子宮がん 検診	前立腺 がん検診
			CT 検査	超音波 検査				
平成 27 年度	26,588	32,404	18,626	1,090	8,029	405	7,910	3,333
平成 28 年度	26,973	33,229	18,421	1,074	8,472	850	8,113	3,274
平成 29 年度	26,587	32,985	17,712	1,131	8,628	1,003	8,121	3,228
平成 30 年度	26,039	33,170	17,259	1,108	8,508	1,053	8,241	3,045
令和元年度	25,693	33,609	17,080	1,098	8,524	1,080	8,405	3,376
令和 2 年度	25,299	33,614	16,233	1,160	8,582	1,105	8,170	3,283
令和 3 年度	25,723	34,301	16,675	1,144	8,591	1,083	8,318	3,337
令和 4 年度	25,623	34,462	16,349	1,119	8,636	960	8,298	3,402
令和 5 年度	25,282	34,747	16,307	950	8,522	815	8,302	3,317
令和 6 年度	24,661	34,818	16,044	975	8,460	777	8,095	3,412

※肺がん検診の X 線検査と CT 検査、乳がん検診のマンモグラフィと乳房超音波検査は併用で検診を実施している。

表 2 臓器別がん発見数の年次推移

単位：人 ()内%

	胃がん 検診	大腸がん 検診	肺がん検診		乳がん検診		子宮がん 検診	前立腺 がん検診
			CT 検査 のみからの発見	超音波検査 のみからの発見				
平成 27 年度	41	69	17	4	17	0	15	12
平成 28 年度	26	73	12	0	19	2	9	8
平成 29 年度	29	44	18	0	15	1	4	11
平成 30 年度	32	57	7	0	13	0	4	13
令和元年度	15	56	12	3	15	0	2	15
令和 2 年度	18	58	9	1	12	1	3	14
令和 3 年度	25	60	9	1	18	2	2	23
令和 4 年度	19	54	10	3	24	1	5	22
令和 5 年度	16	58	9	3	12	0	3	15
令和 6 年度	12	71	11	1	13	2	0	19
(がん発見率)	(0.05)	(0.20)	(0.07)	(0.10)	(0.15)	(0.26)	(0.00)	(0.56)

1) 胃がん検診

本年度の受診者数は 24,661 人(男性 13,033 人、女性 11,628 人)で、前年度の 25,282 人より 621 人減少した。

地域検診・職域検診別の内訳を表 1 に、精検結果を表 2 に、詳細を表 3 に示した。胃がん発見数は地域検診の 8 人(男性 7 人、女性 1 人)と職域検診の 4 人(男性 3 人、女性 1 人)の計 12 人であった。食道がんの発見数は 1 人であった。

X 線画像診断にて慢性胃炎が認められたのは、10,080 人(男性 5,643 人、女性 4,437 人)で、全体の 40.9%であった。

男女別の年代別受診者数・がん発見率を図 1 に示した。

表 1 地域検診・職域検診別の内訳 単位:人 ()内%

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
地域検診	7,513	468 (6.2)	384 (82.1)	8 (0.11)
職域検診	17,148	507 (3.0)	347 (68.4)	4 (0.02)
合計	24,661	975 (4.0)	731 (75.0)	12 (0.05)

表 2 地域検診・職域検診別にみた精検結果 (延べ人数) 単位:人

		地域検診	職域検診
精 検 結 果	胃がん	8	4
	胃がん疑い	0	0
	胃ポリープ	27	23
	胃潰瘍	17	16
	十二指腸潰瘍	0	2
	共存潰瘍	0	0
	食道がん	0	1
	その他(食道がんを除く)	295	249
	異常なし	37	52

図 1 男女別の年代別受診者数・がん発見率

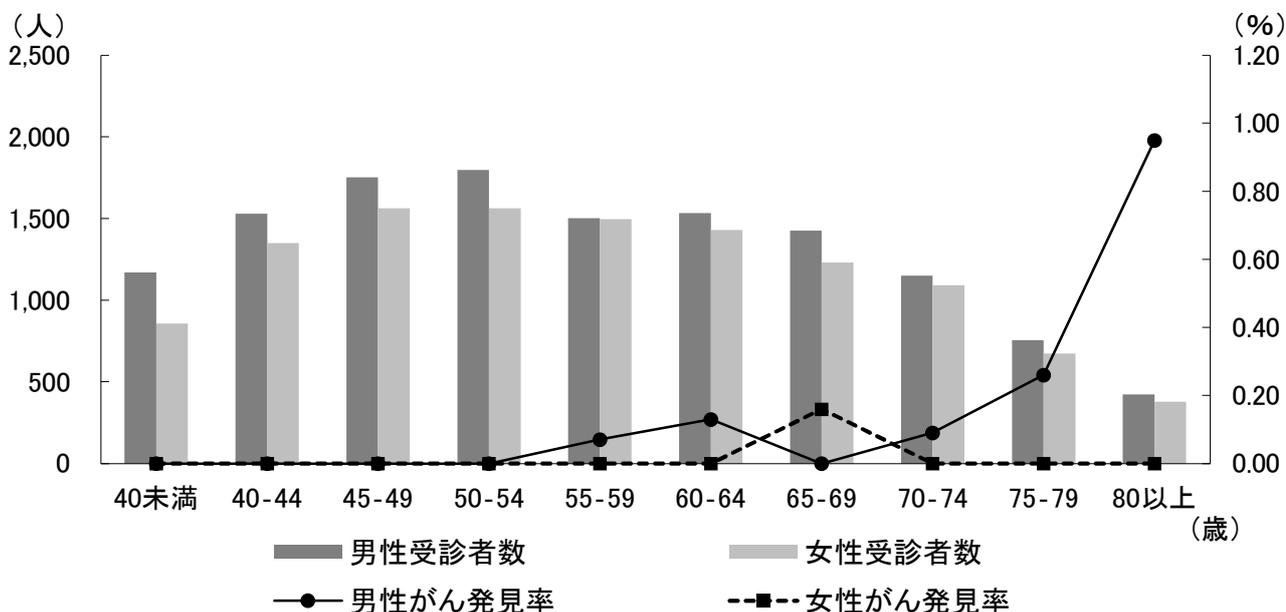


表3 胃がん検診成績表

令和7年12月末現在
胃がん(確診)

区分	一次検診							精密検査							陽性反応的中度			
	A 受診者数	判定区分					C 受診者数	C/B 受診率	精検受診結果					D/B 陽性反応的中度	D/A がん発見率	E/D 早期がんの割合		
		異常なし	精検不要		B 要精検者数	B/A 要精検率			異常なし	D 胃がん	E 精検受診結果		胃がん疑いまたは未確定				胃がん以外の疾患	
			慢性胃炎	その他							うち 早期がん	うち 粘膜内がん						
(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)								
男	40歳未満	1,169	925	225	2	17	1.5	11	64.7	6	0	0	0	0	5	0.00	0.00	0.0
	40～44歳	1,529	1,161	346	0	22	1.4	16	72.7	3	0	0	0	0	13	0.00	0.00	0.0
	45～49歳	1,751	1,164	541	0	46	2.6	28	60.9	5	0	0	0	0	23	0.00	0.00	0.0
	50～54歳	1,797	1,094	635	1	67	3.7	41	61.2	9	0	0	0	0	32	0.00	0.00	0.0
	55～59歳	1,501	778	647	4	72	4.8	47	65.3	4	1	0	0	0	42	1.39	0.07	0.0
	60～64歳	1,533	653	793	1	86	5.6	60	69.8	7	2	1	0	0	51	2.33	0.13	50.0
	65～69歳	1,425	463	854	0	108	7.6	78	72.2	8	0	0	0	0	70	0.00	0.00	0.0
	70～74歳	1,150	269	773	4	104	9.0	77	74.0	6	1	1	0	0	70	0.96	0.09	100.0
	75～79歳	755	148	582	2	81	10.7	70	86.4	10	2	1	0	0	58	2.47	0.26	50.0
	80歳以上	423	71	247	1	46	10.9	39	84.8	1	4	3	1	0	34	8.70	0.95	75.0
	男性計	13,033	6,726	5,643	15	649	5.0	467	72.0	59	10	6	1	0	398	1.54	0.08	60.0
	受診歴別	初回	348	264	77	0	7	2.0	4	57.1	1	0	0	0	0	3	0.00	0.00
非初回		12,685	6,462	5,566	15	642	5.1	463	72.1	58	10	6	1	0	395	1.56	0.08	60.0
女	40歳未満	857	725	125	3	4	0.5	3	75.0	0	0	0	0	0	3	0.00	0.00	0.0
	40～44歳	1,349	1,079	247	6	17	1.3	11	64.7	2	0	0	0	0	9	0.00	0.00	0.0
	45～49歳	1,562	1,134	407	4	17	1.1	14	82.4	1	0	0	0	0	13	0.00	0.00	0.0
	50～54歳	1,562	1,034	492	8	28	1.8	17	60.7	4	0	0	0	0	13	0.00	0.00	0.0
	55～59歳	1,495	929	525	5	36	2.4	27	75.0	2	0	0	0	0	25	0.00	0.00	0.0
	60～64歳	1,430	720	652	6	52	3.6	48	92.3	5	0	0	0	0	43	0.00	0.00	0.0
	65～69歳	1,230	508	662	7	53	4.3	47	88.7	5	2	2	0	0	40	3.77	0.16	100.0
	70～74歳	1,092	387	659	5	41	3.8	34	82.9	3	0	0	0	0	31	0.00	0.00	0.0
	75～79歳	673	201	465	8	41	6.1	35	85.4	5	0	0	0	0	30	0.00	0.00	0.0
	80歳以上	378	91	203	5	37	9.8	28	75.7	3	0	0	0	0	25	0.00	0.00	0.0
	女性計	11,628	6,808	4,437	57	326	2.8	264	81.0	30	2	2	0	0	232	0.61	0.02	100.0
	受診歴別	初回	323	254	62	1	6	1.9	6	100.0	0	0	0	0	0	6	0.00	0.00
非初回		11,305	6,554	4,375	56	320	2.8	258	80.6	30	2	2	0	0	226	0.63	0.02	100.0
合計	合計	24,661	13,534	10,080	72	975	4.0	731	75.0	89	12	8	1	0	630	1.23	0.05	66.7
	受診歴別	初回	671	518	139	1	13	1.9	10	76.9	1	0	0	0	9	0.00	0.00	0.0
	非初回	23,990	13,016	9,941	71	962	4.0	721	74.9	88	12	8	1	0	621	1.25	0.05	66.7
検診車		4,395	1,988	2,148	16	243	5.5	192	79.0	20	3	3	1	0	169	1.23	0.07	100.0
施設		20,266	11,546	7,932	56	732	3.6	539	73.6	69	9	5	0	0	461	1.23	0.04	55.6
地域検診		7,513	2,867	4,141	37	468	6.2	384	82.1	37	8	5	1	0	339	1.71	0.11	62.5
職域他検診		17,148	10,667	5,939	35	507	3.0	347	68.4	52	4	3	0	0	291	0.79	0.02	75.0
前年度合計		25,282	13,411	10,755	70	1,046	4.1	754	72.1	69	16	12	0	0	669	1.53	0.06	75.0

付) 胃の健康度診断 (ヘリコバクターピロリ血清抗体・血清ペプシノゲン)

本年度の受診者数は 705 人(男性 311 人、女性 394 人)で、前年度の 676 人より 29 人増加した。

胃癌リスク別に見た各群の人数・率を表 1 に、年代別を図 1 に示した。

また、表 2 に X 線画像診断で慢性胃炎が認められた A 群および BCD 群の追跡調査結果を示した。医療機関を受診した 122 人 (66.7%) のうち胃癌は C 群から 1 人発見された。

表 1 ABCD群の件数・率 (男女計)

単位: 人 ()内%

		ヘリコバクターピロリ血清抗体価			
		陰性		陽性	
ペプシノゲン測定	萎縮なし	A 群	539 (76.5)	B 群	119 (16.9)
	萎縮あり	D 群	3 (0.4)	C 群	44 (6.2)

図 1 年代別の ABCD 群の率 (男女計)

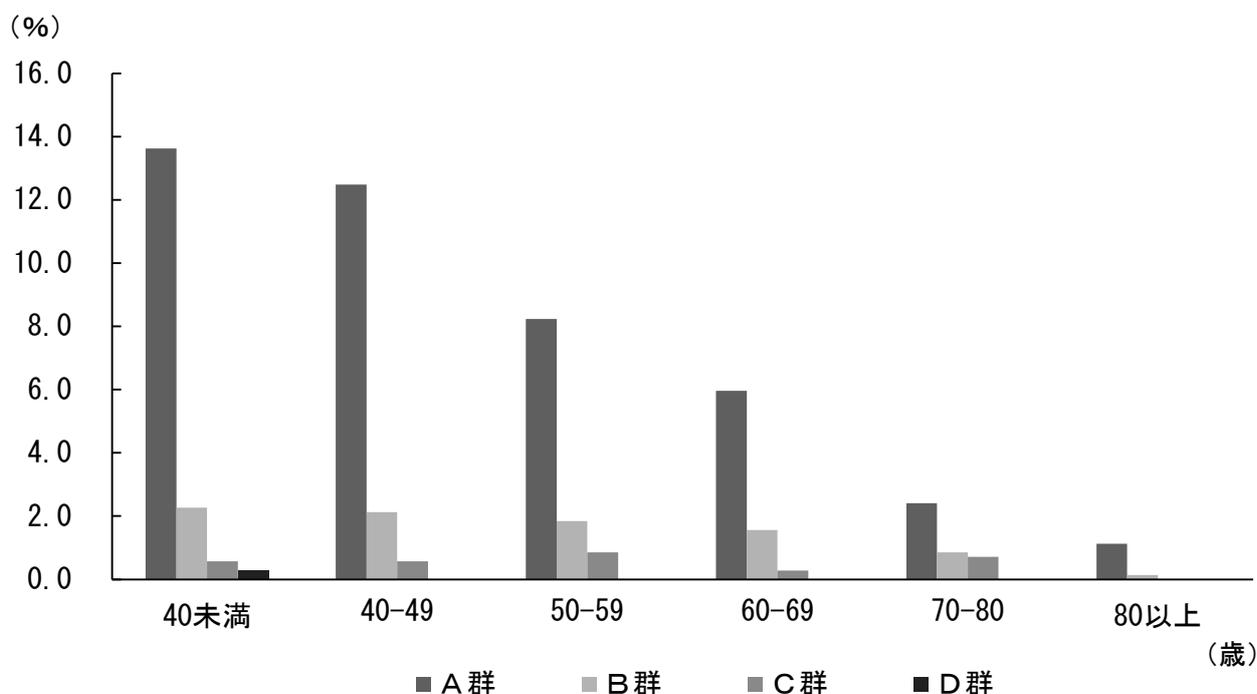


表2 胃の健康度診断 追跡調査結果

令和7年12月末現在

区分	受診者数	胃の健康度診断結果							精密検査										
		A群	① A群 (慢性胃炎あり)	② B群	③ C群	④ D群	①~④ 要受診者数	⑤ 医療機関 受診者数	⑤/①~④ 受診率(%)	精検結果(延べ数)									
										胃がん	胃がん疑い	胃ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	共存潰瘍	その他	異常なし		
男 性	40歳未満	92	73	0	14	5	0	19	10	52.6	0	0	0	1	0	0	0	9	0
	40~49歳	81	61	4	14	2	0	20	12	60.0	0	0	1	0	0	0	0	12	0
	50~59歳	64	44	4	10	6	0	20	13	65.0	0	0	0	1	0	0	0	11	1
	60~69歳	45	26	2	11	6	0	19	10	52.6	0	0	1	0	0	0	0	10	0
	70~79歳	26	12	2	8	4	0	14	10	71.4	0	0	0	0	0	0	0	9	1
	80歳以上	3	2	0	0	0	1	1	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	男性計	311	218	12	57	23	1	93	56	60.2	0	0	2	2	0	0	0	52	2
女 性	40歳未満	118	95	1	16	4	2	23	14	60.9	0	0	0	0	0	0	0	12	2
	40~49歳	107	87	1	15	4	0	20	15	75.0	1	0	1	0	0	0	0	11	3
	50~59歳	77	57	1	13	6	0	20	16	80.0	0	0	0	0	0	0	0	16	0
	60~69歳	55	41	1	11	2	0	14	10	71.4	0	0	1	0	0	0	0	9	1
	70~79歳	28	16	1	6	5	0	12	10	83.3	0	0	0	0	0	0	0	10	0
	80歳以上	9	8	0	1	0	0	1	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	女性計	394	304	5	62	21	2	90	66	73.3	1	0	2	0	0	0	0	59	6
合計	705	522	17	119	44	3	183	122	66.7	1	0	4	2	0	0	0	111	8	
前年度合計	676	478	12	128	51	7	198	132	66.7	1	0	10	3	0	0	0	115	10	

2) 大腸がん検診

本年度の受診者数は 34,818 人(男性 16,511 人、女性 18,307 人)で、前年度の 34,747 人より 71 人増加した。

地域検診・職域検診別の内訳を表 1 に、精検結果を表 2 に、詳細を表 4 に示した。大腸がん発見数は地域検診の 40 人(男性 27 人、女性 13 人)と職域検診の 31 人(男性 20 人、女性 11 人)の計 71 人であった。男女別の年代別受診者数・がん発見率を図 1 に示した。男女別では男性にがんが多く発見された。

がん発見数 71 人の便潜血反応との関連について表 3 に示した。2 日分とも陽性のがん発見率が 9.90%で、1 日分のみ陽性の 2.04%より著明に高かったが、一方でがんが発見された 71 人中 30 人(42.2%)が 1 日分のみ陽性であった。このことから、1 日分のみ陽性、2 日分とも陽性のいずれの場合も精密検査の必要性に変わりのないことがわかる。

表 1 地域検診・職域検診別の内訳 単位：人 ()内%

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
地域検診	12,989	906 (7.0)	699 (77.2)	40 (0.31)
職域検診	21,829	975 (4.5)	645 (66.2)	31 (0.14)
合計	34,818	1,881 (5.4)	1,344 (71.5)	71 (0.20)

表 2 地域検診・職域検診別にみた精検結果(延べ人数) 単位：人

		地域検診	職域検診
精検結果	大腸がん	40	31
	大腸がん疑い	0	0
	大腸ポリープ	383	289
	その他の疾患	48	54
	異常なし	228	271

図 1 男女別の年代別受診者数・がん発見率

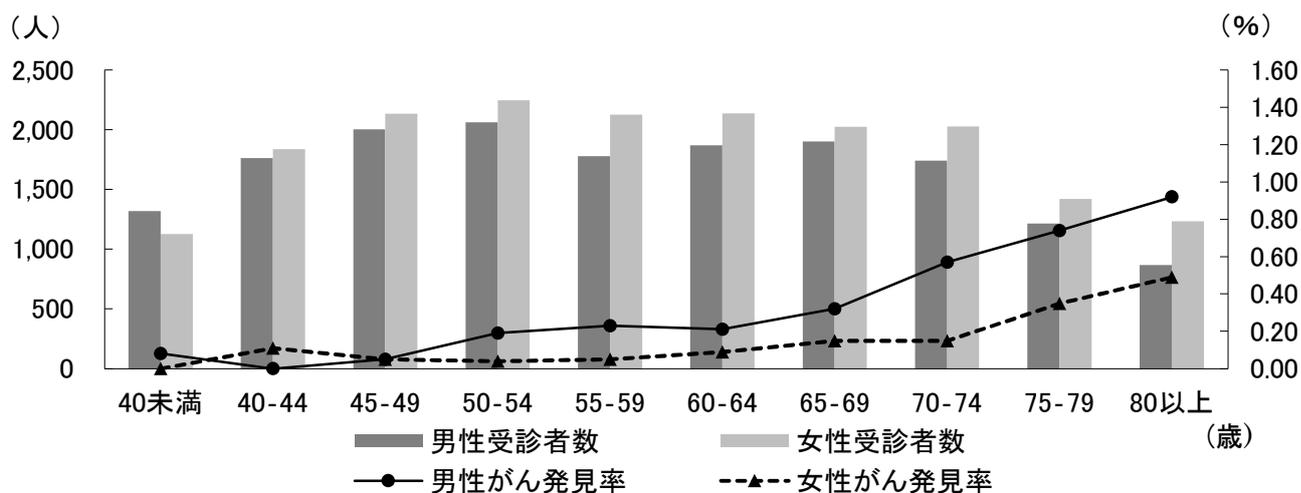


表 3 便潜血反応の結果とがん発見数 単位：人 ()内%

	要精検者数	精検受診者数(率)	がん発見数 (陽性反応の中度)
1 日分 (+)	1,467	1027 (70.0)	30 (2.04)
2 日分 (+)	414	317 (76.6)	41 (9.90)

表4 大腸がん検診成績表

令和7年12月末現在

区分	一次検診				精密検査											大腸がん(確診)				
	A 受診者数	判定区分			C 受診者数	C/B 受診率 (%)	精密受診結果							D/B 陽性反応 的中度 (%)	D/A がん発見率 (%)	E/D 早期がん の割合 (%)				
		異常なし	B 要精検 者数	B/A 要精検率 (%)			異常なし	D 大腸がん	E うち		大腸がん 疑い または 未確定	腺腫 (ポリープ)	腺腫の大きさ別				大腸がん 及び 腺腫以外 の疾患			
									早期がん	粘膜内がん			直径10mm 以上					直径10mm 未満		
男	40歳未満	1,318	1,268	50	3.8	30	60.0	13	1	1	0	0	12	2	10	4	2.00	0.08	100.0	
	40～44歳	1,763	1,690	73	4.1	47	64.4	30	0	0	0	0	16	4	12	1	0.00	0.00	0.0	
	45～49歳	2,002	1,924	78	3.9	46	59.0	20	1	1	0	0	22	7	15	3	1.28	0.05	100.0	
	50～54歳	2,061	1,962	99	4.8	59	59.6	22	4	3	3	0	28	13	15	5	4.04	0.19	75.0	
	55～59歳	1,777	1,672	105	5.9	64	61.0	14	4	3	2	0	36	19	17	10	3.81	0.23	75.0	
	60～64歳	1,870	1,752	118	6.3	71	60.2	15	4	4	3	0	39	14	25	13	3.39	0.21	100.0	
	65～69歳	1,900	1,748	152	8.0	108	71.1	17	6	5	2	0	77	21	56	8	3.95	0.32	83.3	
	70～74歳	1,740	1,588	152	8.7	116	76.3	24	10	7	3	0	66	16	50	16	6.58	0.57	70.0	
	75～79歳	1,213	1,081	132	10.9	103	78.0	20	9	4	3	0	61	8	53	13	6.82	0.74	44.4	
	80歳以上	867	759	108	12.5	74	68.5	14	8	6	3	0	42	12	30	10	7.41	0.92	75.0	
男性計	16,511	15,444	1,067	6.5	718	67.3	189	47	34	19	0	399	116	283	83	4.40	0.28	72.3		
受診 歴別	初回	463	426	37	8.0	23	62.2	9	1	1	0	0	10	5	5	3	2.70	0.22	100.0	
	非初回	16,048	15,018	1,030	6.4	695	67.5	180	46	33	19	0	389	111	278	80	4.47	0.29	71.7	
女	40歳未満	1,126	1,071	55	4.9	33	60.0	20	0	0	0	0	6	0	6	7	0.00	0.00	0.0	
	40～44歳	1,837	1,781	56	3.0	38	67.9	29	2	1	1	0	5	0	5	2	3.57	0.11	50.0	
	45～49歳	2,134	2,066	68	3.2	51	75.0	36	1	1	1	0	10	1	9	4	1.47	0.05	100.0	
	50～54歳	2,245	2,168	77	3.4	56	72.7	33	1	1	0	0	14	1	13	8	1.30	0.04	100.0	
	55～59歳	2,127	2,036	91	4.3	70	76.9	33	1	1	0	0	29	3	26	7	1.10	0.05	100.0	
	60～64歳	2,137	2,064	73	3.4	56	76.7	22	2	2	2	0	25	8	17	7	2.74	0.09	100.0	
	65～69歳	2,023	1,932	91	4.5	80	87.9	38	3	2	1	0	31	1	30	8	3.30	0.15	66.7	
	70～74歳	2,027	1,922	105	5.2	87	82.9	36	3	1	1	0	40	8	32	8	2.86	0.15	33.3	
	75～79歳	1,419	1,323	96	6.8	83	86.5	31	5	3	1	0	38	8	30	9	5.21	0.35	60.0	
	80歳以上	1,232	1,130	102	8.3	72	70.6	32	6	3	3	0	29	5	24	5	5.88	0.49	50.0	
女性計	18,307	17,493	814	4.4	626	76.9	310	24	15	10	0	227	35	192	65	2.95	0.13	62.5		
受診 歴別	初回	509	481	28	5.5	15	53.6	9	1	1	1	0	2	0	2	3	3.57	0.20	100.0	
	非初回	17,798	17,012	786	4.4	611	77.7	301	23	14	9	0	225	35	190	62	2.93	0.13	60.9	
合計	合計	34,818	32,937	1,881	5.4	1,344	71.5	499	71	49	29	0	626	151	475	148	3.77	0.20	69.0	
	受診 歴別	初回	972	907	65	6.7	38	58.5	18	2	2	1	0	12	5	7	6	3.08	0.21	100.0
		非初回	33,846	32,030	1,816	5.4	1,306	71.9	481	69	47	28	0	614	146	468	142	3.80	0.20	68.1
地域検診	12,989	12,083	906	7.0	699	77.2	228	40	26	14	0	356	74	282	75	4.42	0.31	65.0		
職域他検診	21,829	20,854	975	4.5	645	66.2	271	31	23	15	0	270	77	193	73	3.18	0.14	74.2		
前年度合計	34,747	33,042	1,705	4.9	1,210	71.0	463	58	39		0	597			90	3.40	0.17	67.2		

3) 肺がん検診

本年度の受診者数は 16,044 人(男性 7,108 人、女性 8,936 人)で、前年度の 16,307 人より 263 人減少した。

地域検診・職域検診の内訳を表 1 に、精検結果を表 2 に、詳細を表 3 に示した。肺がん発見数は地域検診 11 人(男性 9 人、女性 2 人)、職域検診からは発見されなかった。

男女別の年代別受診者数・がん発見率を図 1 に示した。

X 線検査受診者のうち高危険群に喀痰細胞診を行っている(表 4 参照)が、受診者 196 人中、要精検者は 0 人であった。

表 1 地域検診・職域検診別の内訳

単位：人 ()内%

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
地域検診	14,011	371 (2.6)	324 (87.3)	11 (0.08)
職域検診	2,033	21 (1.0)	18 (85.7)	0 (0.00)
合計	16,044	392 (2.4)	342 (87.2)	11 (0.07)

表 2 地域検診・職域検診別にみた E 判定(肺がん疑い)の精検結果

単位：人

		地域検診	職域検診
精 検 結 果	原発性肺がん	11	0
	肺がん疑い	8	0
	その他の悪性新生物	4	0
	その他の新生物	4	0
	治療を要する肺結核	0	0
	その他の疾患	136	8
	異常なし	161	10

図 1 男女別の年代別受診者数・がん発見率

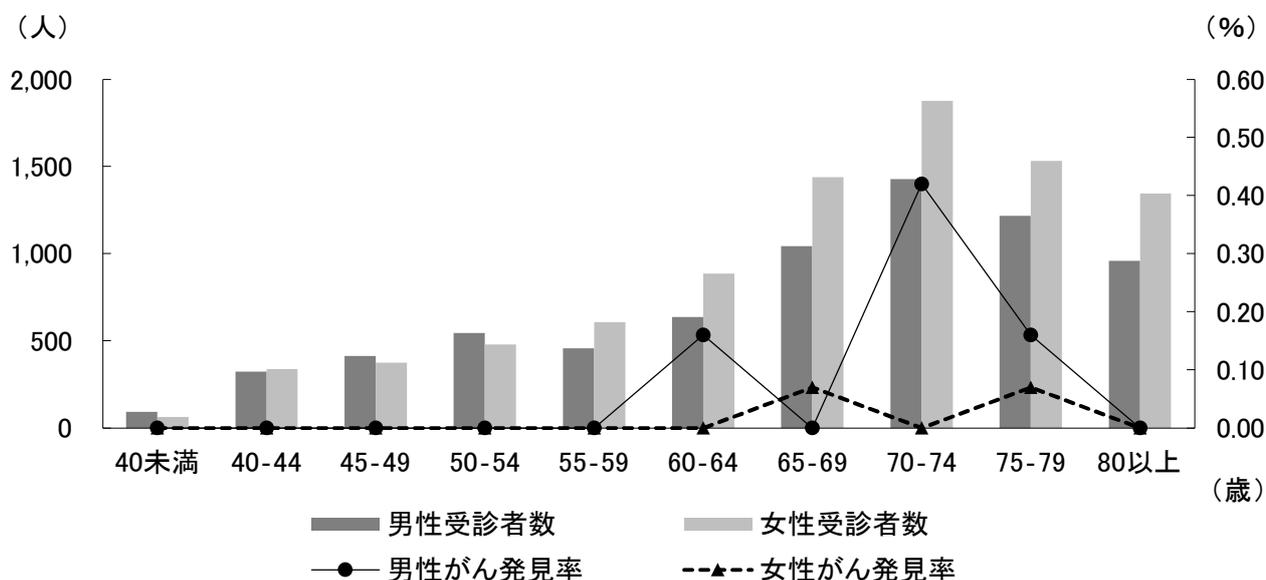


表3 肺がん検診成績表(1)

令和7年12月末現在

区分	一次検診										精密検査						原発性肺がん(確診)		
	① X線 受診 者数	X線 最終決定判定区分別 受診者数 (比較読影による)					② 要精検者数	②/① 要精検率 (%)	③ 受診者数	③/② 受診率 (%)	精密検査結果					④/② 陽性反応 的中度 (%)	④/① がん発見率 (%)	⑤/④ 早期がん の割合 (%)	
		a)		b) 異常所 見を認 めない	c) 異常所見 認めるが 精査不要	d) 肺がん以 外の疾患 の精査					e) 肺がんに 対する 精査	異常なし	④ 原発性 肺がん 者数	⑤ うち 臨床病期 0~I期	肺がんの 疑い または 未確定				肺がん 以外の 疾病
		A 読影 不能 再撮影	B																
男 性	40歳未満	92	0	79	13	0	0	0	0.0	0	0.0					0	0	0	
	40~44歳	323	0	261	57	3	2	2	0.6	2	100.0	1	0	0	1	0.00	0.00	0.0	
	45~49歳	412	0	323	84	0	5	5	1.2	2	40.0	2	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
	50~54歳	544	0	428	107	2	7	7	1.3	6	85.7	4	0	0	2	0.00	0.00	0.0	
	55~59歳	456	0	330	117	5	4	4	0.9	4	100.0	1	0	0	3	0.00	0.00	0.0	
	60~64歳	636	0	480	139	3	14	14	2.2	11	78.6	8	1	0	2	7.14	0.16	0.0	
	65~69歳	1,042	0	713	294	13	22	22	2.1	18	81.8	9	0	0	9	0.00	0.00	0.0	
	70~74歳	1,428	0	945	422	18	43	43	3.0	37	86.0	13	6	2	18	13.95	0.42	33.3	
	75~79歳	1,216	0	723	408	30	55	55	4.5	45	81.8	18	2	1	24	3.64	0.16	50.0	
	80歳以上	959	0	476	391	40	52	52	5.4	46	88.5	24	0	0	2	20	0.00	0.00	0.0
	男性計	7,108	0	4,758	2,032	114	204	204	2.9	171	83.8	80	9	3	3	79	4.41	0.13	33.3
受診 歴別	初回	35	0	28	7	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
	非初回	7,073	0	4,730	2,025	114	204	204	2.9	171	83.8	80	9	3	3	79	4.41	0.13	33.3
女 性	40歳未満	63	0	57	6	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
	40~44歳	338	0	301	32	0	5	5	1.5	4	80.0	3	0	0	1	0.00	0.00	0.0	
	45~49歳	375	0	318	52	3	2	2	0.5	2	100.0	1	0	0	1	0.00	0.00	0.0	
	50~54歳	478	0	382	91	1	4	4	0.8	3	75.0	2	0	0	1	0.00	0.00	0.0	
	55~59歳	606	0	444	155	1	6	6	1.0	5	83.3	2	0	0	3	0.00	0.00	0.0	
	60~64歳	885	0	635	241	0	9	9	1.0	8	88.9	4	0	0	1	3	0.00	0.00	0.0
	65~69歳	1,438	0	917	487	10	24	24	1.7	23	95.8	9	1	1	13	4.17	0.07	100.0	
	70~74歳	1,876	0	1,225	596	13	42	42	2.2	41	97.6	26	0	0	15	0.00	0.00	0.0	
	75~79歳	1,532	0	1,004	461	24	43	43	2.8	37	86.0	22	1	0	1	13	2.33	0.07	0.0
	80歳以上	1,345	0	889	387	16	53	53	3.9	48	90.6	22	0	0	3	23	0.00	0.00	0.0
	女性計	8,936	0	6,172	2,508	68	188	188	2.1	171	91.0	91	2	1	5	73	1.06	0.02	50.0
受診 歴別	初回	37	0	33	3	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
	非初回	8,899	0	6,139	2,505	68	187	187	2.1	171	91.4	91	2	1	5	73	1.07	0.02	50.0
合計	合計	16,044	0	10,930	4,540	182	392	392	2.4	342	87.2	171	11	4	8	152	2.81	0.07	36.4
	受診 歴別	初回	72	0	61	10	0	1	1.4	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
	非初回	15,972	0	10,869	4,530	182	391	391	2.4	342	87.5	171	11	4	8	152	2.81	0.07	36.4
地域検診	14,011	0	9,420	4,049	171	371	371	2.6	324	87.3	161	11	4	8	144	2.96	0.08	36.4	
職域他検診	2,033	0	1,510	491	11	21	21	1.0	18	85.7	10	0	0	0	8	0.00	0.00	0.0	
前年度合計	16,307	0	11,560	4,213	140	394	394	2.4	337	85.5	159	8	9	161	2.03	0.05			

付) CT肺がん検診

本年度の受診者数は975人（男性683人、女性292人）で、前年度の950人と比べて25人増加した。施設外の特定健診と呼吸器検診を対象としたCT肺がん検診受診者数は33人であった。

健診区分別の受診者数を表1に、令和2年度から令和6年度までの受診者数と肺がん判定の要精検率を図1に、年度別肺がん確診者数と発見率を表2に、また、本年度のCT肺がん検診成績表を表3に示した。

肺がん判定では、要精検者数33人（要精検率3.4%）で、要精検率は前年度の3.4%と同じであった。精検受診者数は28人（精検受診率84.8%）であり、精検結果は肺がん確診者1人、肺がん疑い1人であった。

肺所見の判定では、要精検者数18人（要精検率1.8%）、精検受診者数18人（精検受診率100.0%）であり、精検結果は肺がん確診者及び肺がん疑いはいなかった。

表1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所	その他	計
受診者数	448	441	51	35	975

図1 令和2年度から令和6年度までの受診者数と要精検率の推移

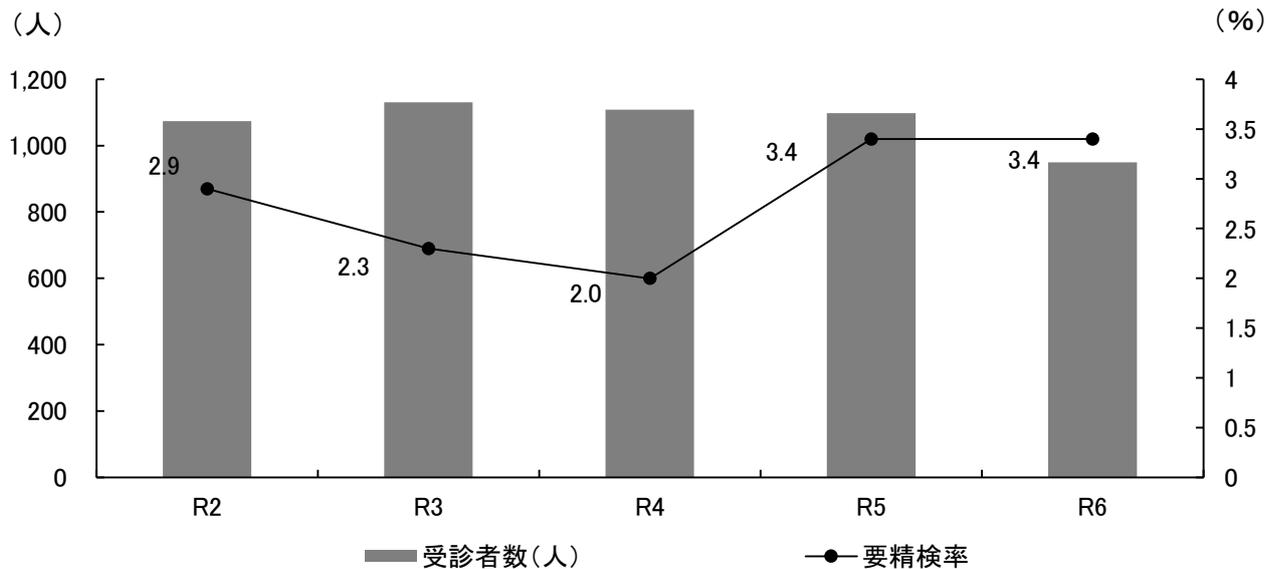


表2 年度別肺がん確診者数と発見率

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
肺がん確診者(人)	3	1	3	3	1
発見率(%)	0.26	0.09	0.27	0.32	0.10

表3 CT肺がん検診成績表

令和7年12月末現在

区分	① 受診者数	肺の判定														その他臓器の判定			センターでの がん発見者数						
		肺がん判定							肺所見の判定							最終決定判定区分別 受診者数 (比較読影による)									
		CT最終決定判定区分別 受診者数 (比較読影による)				⑤ 精検受診者数	⑤/(③+④) 精検受診率(%)	精検確定結果 (回報書による)		CT最終決定判定区分別 受診者数 (比較読影による)			⑧ 精検受診者数	⑧/⑦ 精検受診率(%)	精検確定結果 (回報書による)		異常なし	C 経過観察	D1~D4 要精検						
		C ② 経過観察	DE1 ③ 要精検	DE2 ④ 要精検	(③+④)/① 要精検率(%)			肺がん 確定者	肺がん 疑い	C ⑥ 経過観察	D1~D4 ⑦ 要精検	⑦/① 要精検率(%)			肺がん 確定者	肺がん 疑い				異常なし	C 経過観察	D1~D4 要精検			
男性	40歳未満	20	16	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0	20	0	0	0	0	0	0
	40~44歳	45	30	13	2	0	4.4	1	50.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	45	0	0	0	0	0	0
	45~49歳	69	38	26	2	0	2.9	1	50.0	0	0	1	2	2.9	2	100.0	0	0	68	1	0	0	0	0	0
	50~54歳	94	52	39	1	0	1.1	1	100.0	0	0	1	1	1.1	1	100.0	0	0	91	2	1	0	0	0	0
	55~59歳	74	37	29	2	1	4.1	2	66.7	0	0	3	2	2.7	2	100.0	0	0	71	3	0	0	0	0	0
	60~64歳	95	50	36	4	0	4.2	4	100.0	0	0	4	1	1.1	1	100.0	0	0	91	4	0	0	0	0	2
	65~69歳	106	43	46	5	0	4.7	5	100.0	0	0	9	3	2.8	3	100.0	0	0	99	5	2	0	0	0	0
	70~74歳	95	24	55	1	1	2.1	2	100.0	1	0	12	2	2.1	2	100.0	0	0	86	6	3	1	0	8	0
	75~79歳	66	20	41	3	0	4.5	2	66.7	0	0	1	1	1.5	1	100.0	0	0	58	4	0	0	0	2	0
	80歳以上	19	5	12	0	0	0.0	0	0.0	0	0	1	1	5.3	1	100.0	0	0	18	5	0	0	0	2	0
男性計	683	315	300	20	2	3.2	18	81.8	1	0	33	13	1.9	13	100.0	0	0	647	30	6	1	0	14	0	
女性	40歳未満	14	12	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	13	0	1	0	0	0	0
	40~44歳	22	16	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	20	1	1	0	0	0	0
	45~49歳	38	22	15	0	0	0.0	0	0.0	0	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0	37	1	0	0	0	0	0
	50~54歳	35	18	15	1	0	2.9	1	100.0	0	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0	35	0	0	0	0	0	0
	55~59歳	34	11	20	2	0	5.9	2	100.0	0	0	0	1	2.9	1	100.0	0	0	33	0	1	0	0	0	0
	60~64歳	18	6	10	0	0	0.0	0	0.0	0	0	1	1	5.6	1	100.0	0	0	18	0	0	0	0	1	0
	65~69歳	39	16	20	3	0	7.7	3	100.0	0	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0	36	2	1	0	0	3	0
	70~74歳	53	21	24	4	0	7.5	3	75.0	0	0	2	2	3.8	2	100.0	0	0	50	3	0	0	0	0	0
	75~79歳	31	8	21	0	0	0.0	0	0.0	0	0	1	1	3.2	1	100.0	0	0	23	2	0	0	0	1	0
	80歳以上	8	3	4	1	0	12.5	1	100.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	14	0	0	0	0	1	0
女性計	292	133	137	11	0	3.8	10	90.9	0	1	6	5	1.7	5	100.0	0	0	279	9	4	0	0	6	0	
合計	975	448	437	31	2	3.4	28	84.8	1	1	39	18	1.8	18	100.0	0	0	926	39	10	1	0	20	0	

前年度合計	950	418	443	27	5	3.4	28	87.5	3	1	43	14	1.5	13	92.9	0	0	895	43	12	1	2	12
-------	-----	-----	-----	----	---	-----	----	------	---	---	----	----	-----	----	------	---	---	-----	----	----	---	---	----

4) 乳がん検診

本年度の受診者数は8,460人で、前年度の8,522人より62人減少した。

地域検診・職域検診別の内訳を表1に、精検結果を表2に、詳細を表3に示した。乳がん発見数は地域検診4人、職域検診9人の計13人であった。年代別受診者数・がん発見率を図1に示した。

乳がん検診は隔年となっているが、該当しない受診者（自己負担で受診）の中からの、いわゆる中間期がん（検診と検診の間で発見されるがん）も6人発見されているため、ブレストアウェアネスの啓発に努めていく。

表1 地域検診・職域検診別の内訳

単位：人（）内%

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	がん(発見率)
地域検診	1,614	99 (6.1)	94 (94.9)	4 (0.25)
職域検診	6,846	386 (5.6)	359 (93.0)	9 (0.13)
合計	8,460	485 (5.7)	453 (93.4)	13 (0.15)

表2 地域検診・職域検診別にみた精検結果（延べ人数）

単位：人

		地域検診	職域検診
精検結果	乳がん	4	9
	乳がん疑い	0	0
	その他の疾患	22	109
	異常なし	68	241

図1 年代別受診者数・がん発見率

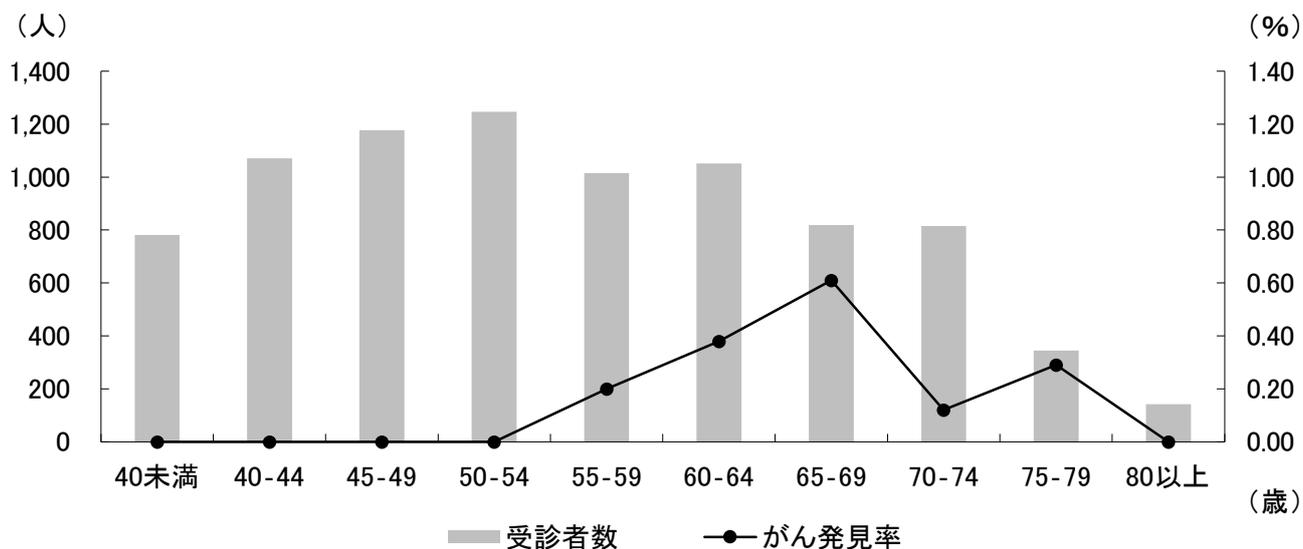


表3 乳がん検診成績表

令和7年12月末現在

区分	一次検診										精密検査								乳がん				
	受診者数		判定区分							B	B/A	C	C/B	精密検査結果						D/B	D/A	E/D	
	前年度	A 当該年度	判定不能		③ カテゴリー 1 異常 なし	④ カテゴリー 2 良性	⑤ カテゴリー 3 悪性否定 できず	⑥ カテゴリー 4 悪性 疑い	⑦ カテゴリー 5 悪性					要精検 者数	要精検率	異常なし	D						乳がん 疑い または 未確定
			① N-1 要再	② N-2 要他検						乳がん	E												
														うち 早期がん I期	うち 非浸 O期								
40歳未満	967	781	0	0	718	14	43	5	1	49	6.3	46	93.9	30	0	0	0	0	16	0.00	0.00	0.0	
40～44歳	1,065	1,070	0	0	979	19	56	16	0	72	6.7	67	93.1	47	0	0	0	0	20	0.00	0.00	0.0	
45～49歳	1,280	1,177	0	0	1,098	16	51	11	1	63	5.4	57	90.5	31	0	0	0	0	26	0.00	0.00	0.0	
50～54歳	1,135	1,247	0	0	1,148	17	61	20	1	82	6.6	77	93.9	51	0	0	0	0	26	0.00	0.00	0.0	
55～59歳	1,090	1,015	0	0	942	17	44	11	1	56	5.5	51	91.1	33	2	2	1	0	16	3.57	0.20	100.0	
60～64歳	1,016	1,051	0	0	974	20	42	14	1	57	5.4	56	98.2	38	4	3	2	0	14	7.02	0.38	75.0	
65～69歳	824	818	0	0	757	18	33	7	3	43	5.3	41	95.3	31	5	3	0	0	5	11.63	0.61	60.0	
70～74歳	732	815	0	0	758	18	34	4	1	39	4.8	36	92.3	29	1	1	0	0	6	2.56	0.12	100.0	
75～79歳	296	344	0	0	320	6	17	1	0	18	5.2	17	94.4	15	1	0	0	0	1	5.56	0.29	0.0	
80歳以上	117	142	0	0	133	3	3	3	0	6	4.2	5	83.3	4	0	0	0	0	1	0.00	0.00	0.0	
合計	8,522	8,460	0	0	7,827	148	384	92	9	485	5.7	453	93.4	309	13	9	3	0	131	2.68	0.15	69.2	
受診 歴別	初回	336	332	0	0	298	3	22	6	3	31	9.3	27	87.1	16	1	0	0	0	10	3.23	0.30	0.0
	非初回	8,186	8,128	0	0	7,529	145	362	86	6	454	5.6	426	93.8	293	12	9	3	0	121	2.64	0.15	75.0
地域検診	1,570	1,614	0	0	1,481	34	76	20	3	99	6.1	94	94.9	68	4	4	1	0	22	4.04	0.25	100.0	
職域他検診	6,952	6,846	0	0	6,346	114	308	72	6	386	5.6	359	93.0	241	9	5	2	0	109	2.33	0.13	55.6	
前年度合計	8,636	8,522			8,131					391	4.6	353	90.3	140	12	7	4	0	207	3.07	0.14	58.3	

※乳がん検診は隔年で実施している

付) 乳房超音波検査

乳房超音波検査（以下US）は、50歳未満の乳がん検診受診者を対象に行っているオプション検査である。

本年度の50歳未満の乳がん検診受診者数は、前年度の3,312人より284人減の3,028人であった。US併用受診者数は777人（25.7%）で、前年度の815人より38人減少した。その中で、USのみから2人の乳がんが発見された。

50歳未満の高濃度乳房においては、従来のマンモグラフィにUSを併用することによってがん発見率は上昇すると言われている。若年者の乳がんが増加していることもあり、今後も乳がん検診のUSについて啓蒙していかなければならない。

表1 一次検診結果

単位：人

区 分	一次検診受診者			判定区分				根拠別の 要精検者数	
	乳がん検診受診者数	US併用受診者数	US併用受診率（%）	異常認めず	所見あるも精検不要	要精検者数	要精検率（%）	USのみ	マンモ+US
40歳未満	781	233	29.8	69	146	18	7.7	16	2
40～44歳	1,070	272	25.4	59	193	20	7.4	18	2
45～49歳	1,177	272	23.1	51	197	24	8.8	21	3
合 計	3,028	777	25.7	179	536	62	8.0	55	7
前年度合計	3,312	815	24.6	185	572	58	7.1	50	8

表2 精密検査結果

単位：人

区 分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率（%）	根拠別の 乳がん確診者数			発見疾患（延べ数）					乳がん確診	
				USのみ	マンモ+US	乳がん確診者合計	乳がん疑い	乳腺症	乳腺良性腫瘍	その他	異常なし	陽性反応適中度（%）	がん発見率（%）
40歳未満	18	16	88.9	0	0	0	0	2	2	6	6	0.00	0.00
40～44歳	20	17	85.0	1	0	1	0	2	4	6	4	5.00	0.37
45～49歳	24	22	91.7	1	0	1	0	3	3	8	9	4.17	0.37
合 計	62	55	88.7	2	0	2	0	7	9	20	19	3.23	0.26
前年度合計	58	55	94.8	0	0	0	0	15	27	16	4	0.00	0.00

5) 子宮がん検診

本年度の受診者数は8,095人で、前年度の8,302人より207人減少した。

地域検診・職域検診別の内訳を表1に精検結果を表2に、詳細を表3に示した。子宮頸がんは発見されなかった。年代別受診者数・がん発見率を図1に示した。

子宮がん検診の対象年齢は20歳以上であり、年々若年層の受診者も増えてはきているが、まだ受診率が低い傾向にある。今後も若年者に対して啓発していかなければならない。

表1 地域検診・職域検診別の内訳

単位：人 ()内%

	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	子宮頸がん(発見率)
地域検診	2,385	8 (0.3)	6 (75.0)	0 (0.00)
職域検診	5,710	55 (1.0)	48 (87.3)	0 (0.00)
合計	8,095	63 (0.8)	54 (85.7)	0 (0.00)

表2 地域検診・職域検診別にみた精検結果

単位：人

		地域検診	職域検診
精 検 結 果	異常なし	5	15
	体がん	0	0
	異形成	1	32
	その他の疾患	0	1
	頸がん	0	0

図1 年代別受診者数・がん発見率

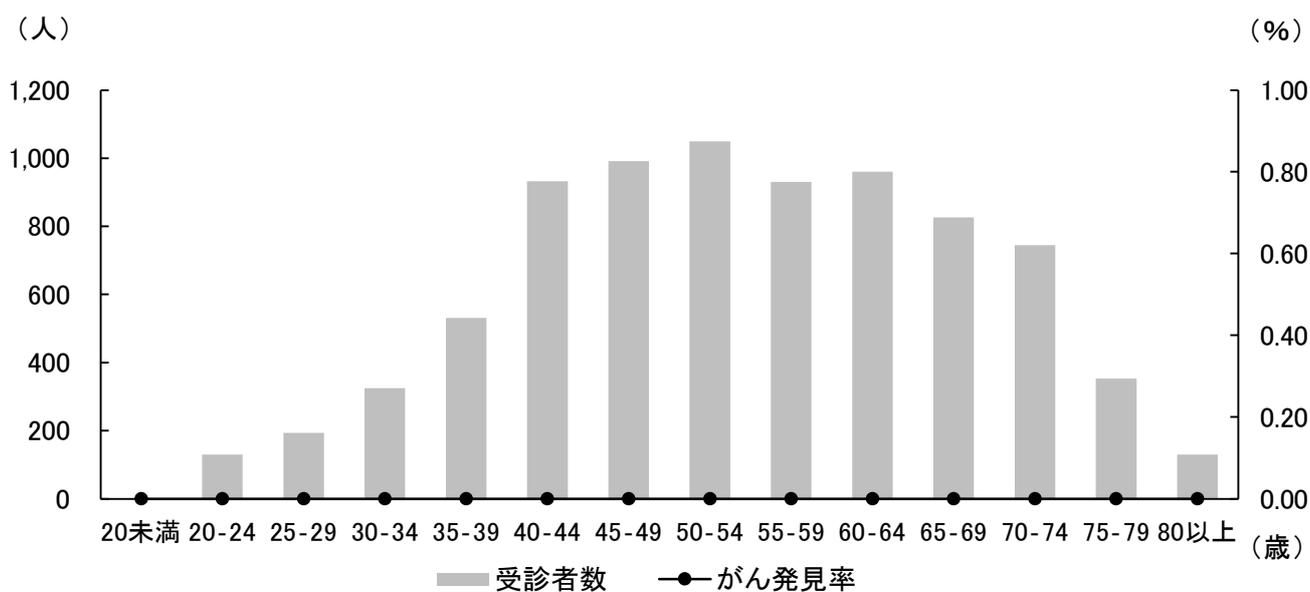


表3 子宮がん検診成績表

令和7年12月末現在

区分	一次検診結果												精密検査											子宮頸がん(確診)						
	A 受診者数	NILM	要精検									B 要精検者数	B/A 要精検率 (%)	C 受診者数	C/B 受診率 (%)	異常なし	精密検査結果										D/B 陽性反応 の 中 度 (%)	D/A がん発見率 (%)	E/D 早期がんの 割合 (%)	
			ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	AIS	SCC	Adeno	Other						判定不能	D 子宮頸がん	E うち 進行度 IA期 のがん	AIS	CIN3	CIN2	HSIL (CINまたはCIN2 いずれか区別できない)	CIN1	子宮頸がん または未確定	子宮体がん				その他
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
20～24歳	130	127	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	2.3	2	66.7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
25～29歳	193	189	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	2.1	4	100.0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
30～34歳	325	319	1	1	2	2	0	0	0	0	0	6	1.8	6	100.0	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
35～39歳	531	525	3	0	1	1	1	0	0	0	0	6	1.1	5	83.3	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
40～44歳	932	924	2	0	5	1	0	0	0	0	0	8	0.9	7	87.5	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
45～49歳	991	980	6	1	4	0	0	0	0	0	0	11	1.1	9	81.8	3	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0.00	0.00	0.0	
50～54歳	1,049	1,036	4	1	4	4	0	0	0	0	0	13	1.2	12	92.3	2	0	0	0	2	0	0	8	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
55～59歳	930	925	2	1	2	0	0	0	0	0	0	5	0.5	3	60.0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
60～64歳	960	957	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0.3	3	100.0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
65～69歳	826	824	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2	1	50.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
70～74歳	745	743	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.3	2	100.0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
75～79歳	353	353	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
80歳以上	130	130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
合計	8,095	8,032	27	5	22	8	1	0	0	0	0	63	0.8	54	85.7	20	0	0	0	4	5	0	24	0	0	1	0.00	0.00	0.0	
受診 歴別	初回	168	165	1	1	1	0	0	0	0	0	3	1.8	3	100.0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
	非初回	7,927	7,867	26	4	21	8	1	0	0	0	60	0.8	51	85.0	19	0	0	0	4	4	0	23	0	0	1	0.00	0.00	0.0	
地域検診	2,385	2,377	5	0	3	0	0	0	0	0	0	8	0.3	6	75.0	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.00	0.00	0.0	
職域他検診	5,710	5,655	22	5	19	8	1	0	0	0	0	55	1.0	48	87.3	15	0	0	0	4	5	0	23	0	0	1	0.00	0.00	0.0	
前年度合計	8,302	8,238	26	5	28	4	1	0	0	0	0	64	0.8	56	87.5	25	3			3	25					3	4.69	0.04	0.0	

6) 前立腺がん検診

本年度の受診者数は3,412人で、前年度の3,317人より95人増加した。

地域検診・職域検診別の内訳を表1に、精検結果を表2に、詳細を表3に示した。前立腺がんの発見数は地域検診の12人、職域検診の7人の計19人であった。

年代別受診者数・がん発見率を図1に示した。がん発見率は70歳代前半が0.82%で、他の年齢層より高かった。なお75歳以上のがん発見率が高値となったが、受診者数が少ないことも影響していると考えられる。

前立腺がん検診はオプションであることもあって、受診者数は胃がん検診や大腸がん検診の男性受診者に比べて極めて少ない。前立腺がんの近年の増加傾向も踏まえて、引き続き啓発していかなければならない。

表1 地域検診・職域検診別の内訳

単位：人（）内%

	受診者数	要精検者数（率）	精検受診者数（率）	がん（発見率）
地域検診	1,141	103（9.0）	86（83.5）	12（1.05）
職域検診	2,271	76（3.3）	60（78.9）	7（0.31）
合計	3,412	179（5.2）	146（81.6）	19（0.56）

表2 地域検診・職域検診別にみた精検結果（延べ人数）

単位：人

		地域検診	職域検診
精検結果	前立腺がん	12	7
	前立腺がん疑い	41	26
	前立腺肥大症	28	22
	その他	3	1
	異常なし	2	4

図1 年代別受診者数・がん発見率

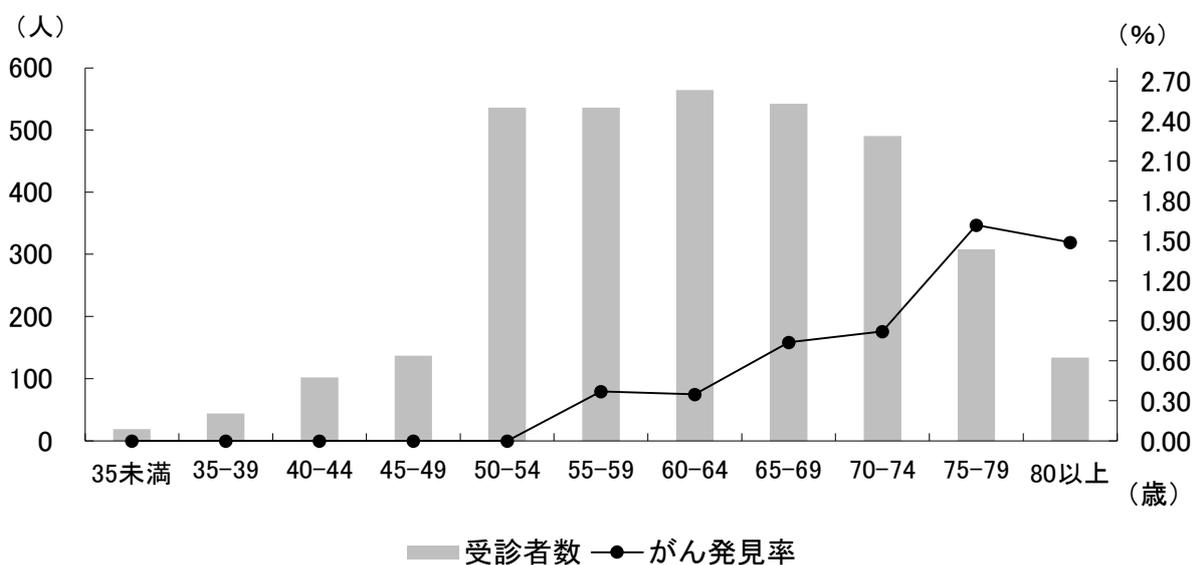


表3 前立腺がん検診成績表

令和7年12月末現在 ※別表

区分 【年齢別】	一次検診結果						精密検査結果																		前立腺がん		
	受診者数 (a)	判定区分					精検受診者数		精検受診率(%)		検査項目内訳(延べ数)					発見疾患								(c)/(b)	(c)/(a)		
		異常なし	要精検(b)		要精検率(%)						直腸診	超音波検査	腫瘍マーカー	生検	その他	前立腺がん(c)		前立腺がん疑		前立腺肥大		その他		異常なし		陽性反応的中度	がん発見率
			(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)						(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)	(D)	(E)		
35歳未満	19	19	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
35～39歳	44	44	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
40～44歳	102	102	0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	
45～49歳	137	136	0	1	0.0	0.7	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	
50～54歳	536	528	8	0	1.5	0.0	5	0	62.5	0.0	1	2	4	0	1	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0.00	0.00	
55～59歳	536	523	13	0	2.4	0.0	12	0	92.3	0.0	6	6	11	4	4	2	0	5	0	5	0	0	0	0	0	15.38	0.37
60～64歳	564	543	19	2	3.4	0.4	14	1	73.7	50.0	4	6	14	2	1	2	0	6	1	3	0	1	0	2	0	9.52	0.35
65～69歳	542	500	41	1	7.6	0.2	35	1	85.4	100.0	6	10	30	6	6	4	0	16	0	12	1	0	0	3	0	9.52	0.74
70～74歳	490	450	37	3	7.6	0.6	28	3	75.7	100.0	7	12	30	6	4	2	2	15	1	10	0	1	0	0	0	10.00	0.82
75～79歳	308	268	34	6	11.0	1.9	29	5	85.3	83.3	10	12	29	5	9	1	4	14	0	12	1	1	0	1	0	12.50	1.62
80歳以上	134	120	13	1	9.7	0.7	12	1	92.3	100.0	2	6	11	2	1	1	1	6	0	4	0	1	0	0	0	14.29	1.49
合計	3,412	3,233	165	14	4.8	0.4	135	11	81.8	78.6	36	54	129	25	26	12	7	65	2	48	2	4	0	6	0	10.61	0.56
総計	3,412	3,233	179		5.2		146		81.6							19	67	50	4	6							

再掲【地域・職域別】																											
地域検診	1,141	1,038	94	9	8.2	0.8	78	8	83.0	88.9	21	32	77	15	15	6	6	40	1	27	1	3	0	2	0	11.65	1.05
職域検診	2,271	2,195	71	5	3.1	0.2	57	3	80.3	60.0	15	22	52	10	11	6	1	25	1	21	1	1	0	4	0	9.21	0.31
前年度合計	3,317	3,133	171	13	5.2	0.4	130	11	76.0	84.6	19	33	109	22	41	9	6	50	1	59	3	3	0	9	1	8.15	0.45

D・・・PSA値 4.001～10.000 ng/mL

E・・・PSA値 10.001 ng/mL以上

(7) 腹部超音波検査

本年度の受診者数は9,225人で、前年度の8,503人より722人増加した。これは、協会けんぽ付加健診の対象年齢が増えたことが影響していると思われる。

表1に健診区分別の受診者数、表2に年代別判定区分を示した。

図1に過去5年間の受診者数の推移を示し、図2に過去5年間の精検受診率の推移を示した。本年度の精検受診率は82.9%であった。

精密検査の結果については、悪性腫瘍が13例（胆のうがん1例、膵臓がん2例、腎臓がん4例、膀胱がん2例、虫垂がん1例、後腹膜肉腫1例、前立腺がん1例、リンパ節転移1例）、外科的適応となった非悪性腫瘍は15例（肝疾患1例、胆道系疾患6例、腎尿路系疾患6例、婦人科系疾患2例）であった。

表1 健診区分別受診者数

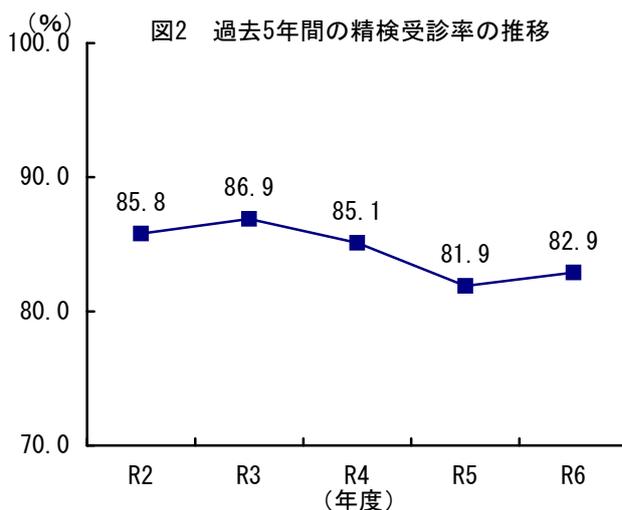
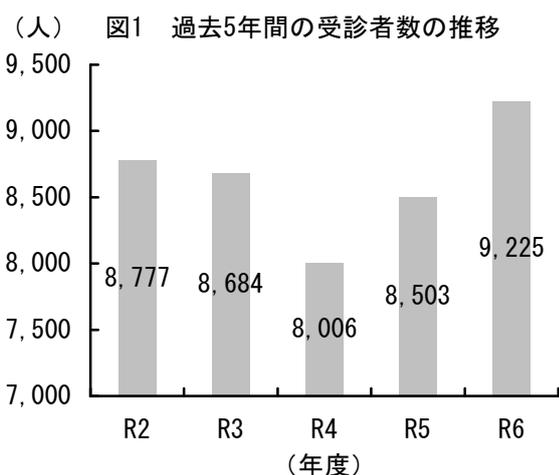
単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	3,876	4,409	940	9,225

表2 年代別の判定区分

単位：人（）内%

		受診者数	異常なし	精検不要	要観察	要精検	要治療	治療中
男性	40歳未満	356	71 (19.9)	62 (17.4)	199 (56.0)	24 (6.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～49歳	1,074	141 (13.1)	203 (18.9)	658 (61.3)	69 (6.4)	3 (0.3)	0 (0.0)
	50～59歳	1,269	86 (6.8)	203 (16.0)	875 (68.9)	98 (7.7)	5 (0.4)	2 (0.2)
	60～69歳	1,115	51 (4.6)	193 (17.3)	755 (67.7)	113 (10.1)	3 (0.3)	0 (0.0)
	70～79歳	592	18 (3.0)	102 (17.2)	413 (69.9)	55 (9.3)	2 (0.3)	2 (0.3)
	80歳以上	73	0 (0.0)	14 (19.2)	47 (64.3)	11 (15.1)	1 (1.4)	0 (0.0)
	小計	4,479	367 (8.2)	777 (17.3)	2,947 (65.8)	370 (8.3)	14 (0.3)	4 (0.1)
女性	40歳未満	277	95 (34.3)	66 (23.8)	89 (32.1)	26 (9.4)	0 (0.0)	1 (0.4)
	40～49歳	1,146	261 (22.8)	324 (28.3)	472 (41.1)	87 (7.6)	1 (0.1)	1 (0.1)
	50～59歳	1,395	188 (13.5)	365 (26.2)	758 (54.3)	83 (5.9)	1 (0.1)	0 (0.0)
	60～69歳	1,146	113 (9.9)	284 (24.8)	644 (56.2)	101 (8.8)	4 (0.3)	0 (0.0)
	70～79歳	696	46 (6.6)	189 (27.2)	391 (56.1)	68 (9.8)	2 (0.3)	0 (0.0)
	80歳以上	86	8 (9.3)	17 (19.8)	52 (60.4)	9 (10.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
	小計	4,746	711 (15.0)	1,245 (26.2)	2,406 (50.6)	374 (7.9)	8 (0.2)	2 (0.1)
合計	9,225	1,078 (11.7)	2,022 (21.9)	5,353 (58.0)	744 (8.1)	22 (0.2)	6 (0.1)	
前年度合計	8,503	1,022 (12.0)	1,801 (21.2)	5,087 (59.8)	570 (6.7)	17 (0.2)	6 (0.1)	



(8) 循環器系検査

1) 心電図検査

本年度の受診者数は 46,521 人で、前年度と同数であった。

表 1 に健診区分別の受診者数、表 2 に年代別判定区分の人数と比率について示した。年齢が上がるにつれて有所見率は高くなる傾向にあった。

表 3 に要医療となった所見の内訳を示した。要医療の内訳では、心房細動が最も多かった。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	特定健診	事業所・その他	計
受診者数	8,135	15,884	7,507	14,995	46,521

表 2 年代別の判定区分

単位：人 ()内%

		受診者数	異常なし	要観察	要指導	要精検	要医療
男性	40歳未満	5,206	4,303 (82.6)	665 (12.8)	25 (0.5)	207 (4.0)	6 (0.1)
	40～49歳	4,594	3,596 (78.3)	683 (14.9)	51 (1.1)	253 (5.5)	11 (0.2)
	50～59歳	4,433	3,231 (72.8)	699 (15.8)	77 (1.7)	375 (8.5)	51 (1.2)
	60～69歳	4,247	2,635 (62.0)	827 (19.5)	129 (3.0)	517 (12.2)	139 (3.3)
	70～79歳	3,127	1,581 (50.5)	650 (20.8)	155 (5.0)	523 (16.7)	218 (7.0)
	80歳以上	836	267 (31.9)	177 (21.2)	53 (6.3)	228 (27.3)	111 (13.3)
	小計	22,443	15,613 (69.5)	3,701 (16.5)	490 (2.2)	2,103 (9.4)	536 (2.4)
女性	40歳未満	4,867	4,100 (84.2)	538 (11.1)	12 (0.2)	214 (4.4)	3 (0.1)
	40～49歳	4,819	3,868 (80.3)	660 (13.7)	20 (0.4)	266 (5.5)	5 (0.1)
	50～59歳	4,902	3,782 (77.2)	643 (13.1)	21 (0.4)	439 (9.0)	17 (0.3)
	60～69歳	4,643	3,293 (70.9)	666 (14.3)	50 (1.1)	597 (12.9)	37 (0.8)
	70～79歳	3,638	2,285 (62.9)	575 (15.8)	55 (1.5)	645 (17.7)	78 (2.1)
	80歳以上	1,209	589 (48.7)	215 (17.8)	27 (2.2)	326 (27.0)	52 (4.3)
	小計	24,078	17,917 (74.4)	3,297 (13.7)	185 (0.8)	2,487 (10.3)	192 (0.8)
合計	46,521	33,530 (72.0)	6,998 (15.0)	675 (1.5)	4,590 (9.9)	728 (1.6)	

前年度合計	46,521	33,701 (72.4)	6,797 (14.6)	687 (1.5)	4,595 (9.9)	741 (1.6)
-------	--------	---------------	--------------	-----------	-------------	-----------

表 3 要医療の内訳 (延べ件数)

所見名	件数	所見名	件数	所見名	件数
心房細動	478	徐脈性心房細動	5	発作性上室性頻拍	1
高度 T 波異常	74	ST 上昇	3	上室性期外収縮(連発性)	1
高度 ST 低下	69	上室頻拍	3	PSVT (PAT) ショートラン	1
人工ペースメーカー	59	房室ブロックⅡ度+徐脈	3	上室性期外収縮(連発性)・	
心室性期外収縮(多源性)	34	徐脈を伴う房室ブロックⅢ度	3	ショートラン多発	1
心室性期外収縮(連発性)	17	房室ブロックⅢ度	2	高度な徐脈	1
二枝ブロック+房室ブロックⅠ度	14	心房粗細動	1	洞停止・洞機能不全疑	1
心房粗動	12	発作性心房粗細動	1	房室解離	1
頻脈性心房細動	11	発作性心房粗動	1	促進型心室性固有調律	1

2) 眼底検査

本年度の受診者数は 20,933 人で、前年度の 20,033 人より 900 人増加した。なお健診区分別の受診者数は表 1 のとおりである。

当センターでは眼底血管の高血圧性変化と動脈硬化性変化の程度を Scheie 分類(0 度：異常なし～IV 度：最も変化が強い)に従って判定しており、本年度の受診者の年代別判定区分は表 2 のとおりである。上記以外の所見については表 3 に示した。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	特定健診	計
受診者数	7,648	3,346	4,137	5,802	20,933

表 2 年代別の判定区分 (Scheie 分類)

単位：人 ()内%

	受診者数	異常なし	要指導		要医療		判定不能
		0	I	II	III	IV	
40歳未満	1,652	1,650	1	1	0	0	0
40～44歳	1,584	1,582	1	1	0	0	0
45～49歳	1,974	1,961	6	7	0	0	0
50～54歳	2,147	2,124	13	10	0	0	0
55～59歳	2,078	2,054	15	8	0	0	1
60～64歳	2,352	2,301	30	21	0	0	0
65～69歳	2,947	2,867	65	15	0	0	0
70～74歳	3,045	2,921	100	21	0	0	3
75～79歳	1,909	1,772	113	22	0	0	2
80歳以上	1,245	1,145	85	12	0	0	3
合計	20,933	20,377 (97.35)	429 (2.05)	118 (0.56)	0 (0.00)	0 (0.00)	9 (0.04)

表 3 「その他の疾患」の内訳 (延べ件数)

所見名	件数	所見名	件数
緑内障疑い	830	糖尿病網膜症疑い	49
黄斑部病変	324	糖尿病網膜症	11
上記以外の血管病変	123	視神経病変	3
網膜病変	62	硝子体病変	6

(9) 糖尿病精密検査

本年度の健康診断における糖尿病検査受診者数は49,598人で、そのうち糖尿病治療中と定期受診中の受診者が3,198人であった。

要再検・要治療者1,696人のうち、回報書を発行したのは1,444人(※)だった。精密検査受診者は764人(52.9%)で、精密検査の結果は糖尿病型377人(49.3%)、境界型196人(25.6%)、正常型191人(25.0%)であった。

また、職域健診の人間ドック受診者と、地域健診の一部健保の受診者のうち要観察と判定された受診者の中で、空腹時血糖が110~125mg/dLまたはHbA1c6.0~6.4%の受診者にも追跡調査を行っており、809人に回報書を発行した。そのうち精密検査受診者は494人(61.1%)で、精密検査の結果、糖尿病型80人(16.2%)、境界型222人(44.9%)、正常型192人(38.9%)であった。

表1 健診区分別の糖尿病検査受診者数と精検結果

単位：人

	受診者数	定期受診中 糖尿病治療中	異常なし 精検不要	要観察	要再検 要治療	回報書 発行者数	精検受診者数	精検受診率 (%)	精検結果			
									糖尿病型	境界型	正常型	
計	49,598	3,198	26,800	17,904	1,696	1,444	764	52.9	377	196	191	
地域健診	14,984	1,644	5,099	7,507	734	639	414	64.7	204	107	103	
職域健診	協会けんぽ	15,631	902	9,354	4,905	470	427	185	43.3	103	48	34
	事業所	17,149	548	11,783	4,405	413	312	126	32.3	51	30	45
	人間ドック	1,834	104	564	1,087	79	66	39	59.1	19	11	9

空腹時血糖 110~125mg/dL または HbA1c 6.0~6.4%	809	494	61.1	80	222	192
---	-----	-----	------	----	-----	-----

※医療機関で定期受診中の者、また特定業務健診受診者は1年のうち2回目の健診であるため回報書を発行していない

(10) オプション検査

1) BNP検査

BNP検査は心臓機能マーカーの検査（血液検査）である。

本年度の受診者数は1,456人で、前年度の1,488人より32人減少した。判定の要指導は204人、要精検は47人であった。

表1 年代別の判定区分

単位：人（）内%

		受診者数	異常なし	要指導	要精検
男性	40歳未満	40	39 (97.5)	1 (2.5)	0 (0.0)
	40～49歳	153	149 (97.4)	4 (2.6)	0 (0.0)
	50～59歳	189	178 (94.1)	9 (4.8)	2 (1.1)
	60～69歳	226	191 (84.5)	28 (12.4)	7 (3.1)
	70～79歳	147	102 (69.4)	33 (22.4)	12 (8.2)
	80歳以上	18	10 (55.6)	4 (22.2)	4 (22.2)
	小計	773	669 (86.6)	79 (10.2)	25 (3.2)
女性	40歳未満	32	32 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～49歳	147	126 (85.7)	19 (12.9)	2 (1.4)
	50～59歳	205	177 (86.3)	25 (12.2)	3 (1.5)
	60～69歳	168	119 (70.8)	46 (27.4)	3 (1.8)
	70～79歳	122	79 (64.8)	32 (26.2)	11 (9.0)
	80歳以上	9	3 (33.4)	3 (33.3)	3 (33.3)
	小計	683	536 (78.5)	125 (18.3)	22 (3.2)
合計		1,456	1,205 (82.8)	204 (14.0)	47 (3.2)

前年度合計	1,488	1,208 (81.1)	227 (15.3)	53 (3.6)
-------	-------	--------------	------------	----------

2) 頸動脈超音波検査

頸動脈超音波検査は、本年度より新たに追加となったオプション検査である。年度年齢が偶数の受診者を対象とし、本年度の受診者数は692人であった。判定の要精検は20人、要治療は1人であった。

表1 年代別の判定区分

単位：人 ()内%

	受診者数	異常なし	精検不要	要経過観察	要精検	要治療
男性	40歳未満	7	4 (57.1)	3 (42.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～49歳	54	32 (59.2)	17 (31.5)	4 (7.4)	1 (1.9)
	50～59歳	82	33 (40.2)	28 (34.2)	19 (23.2)	2 (2.4)
	60～69歳	98	16 (16.3)	32 (32.6)	42 (42.9)	8 (8.2)
	70～79歳	54	4 (7.4)	11 (20.4)	34 (63.0)	4 (7.4)
	80歳以上	6	0 (0.0)	1 (16.7)	1 (16.7)	4 (66.6)
	小計	301	89 (29.6)	92 (30.6)	100 (33.2)	19 (6.3)
女性	40歳未満	10	7 (70.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	0 (0.0)
	40～49歳	60	48 (80.0)	11 (18.3)	1 (1.7)	0 (0.0)
	50～59歳	123	61 (49.6)	45 (36.6)	17 (13.8)	0 (0.0)
	60～69歳	131	50 (38.2)	57 (43.5)	24 (18.3)	0 (0.0)
	70～79歳	63	12 (19.0)	23 (36.5)	27 (42.9)	1 (1.6)
	80歳以上	4	1 (25.0)	0 (0.0)	3 (75.0)	0 (0.0)
	小計	391	179 (45.8)	137 (35.0)	74 (18.9)	1 (0.3)
合計	692	268 (38.7)	229 (33.1)	174 (25.2)	20 (2.9)	

3) 骨粗しょう症検診（骨密度測定）

本年度の受診者数は2,005人（男性323人、女性1,682人）で、前年度の3,824人と比べ、1,819人減少した。この大幅な減少は、主にみらい健康調査対象者の違いによるものが大きく、前年度の対象者が2,513人であるのに対し、本年度の対象者は517人と1,996人少なかったことが挙げられる。

健診区分別受診者数を表1に、年代別の判定区分を表2に示した。女性の60～80歳代の要精検率が著明に高かった。

過去5年間における骨粗しょう症検診受診者数の推移を図1に示した。

表1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	合計
受診者数	875 〔みらい0〕	780 〔みらい371〕	350 〔みらい146〕	2,005 〔みらい517〕

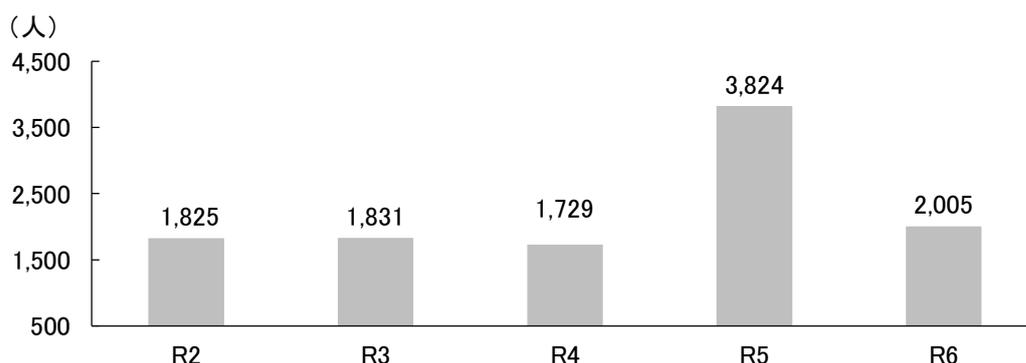
表2 年代別の判定区分

単位：人（）内%

		受診者数	異常なし	要指導	要精検
男性	20～29歳	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	30～39歳	11	11 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～49歳	46	42 (91.3)	4 (8.7)	0 (0.0)
	50～59歳	119	104 (87.4)	12 (10.1)	3 (2.5)
	60～69歳	91	61 (67.0)	25 (27.5)	5 (5.5)
	70～79歳	45	23 (51.1)	13 (28.9)	9 (20.0)
	80歳以上	10	5 (50.0)	3 (30.0)	2 (20.0)
	小計	323	247 (76.5)	57 (17.6)	19 (5.9)
女性	20～29歳	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	30～39歳	42	42 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	40～49歳	208	205 (98.6)	3 (1.4)	0 (0.0)
	50～59歳	457	322 (70.5)	88 (19.3)	47 (10.3)
	60～69歳	614	154 (25.1)	211 (34.4)	249 (40.6)
	70～79歳	326	35 (10.7)	85 (26.1)	206 (63.2)
	80歳以上	35	1 (2.9)	7 (20.0)	27 (77.1)
	小計	1,682	759 (45.1)	394 (23.4)	529 (31.5)
合計	2,005	1,006 (50.2)	451 (22.5)	548 (27.3)	
前年度合計	3,824	1,858 (48.6)	876 (22.9)	1,090 (28.5)	

図1 過去5年間における受診者数の推移

※R5.6年度はみらい健康調査実施



4) CT内臓脂肪測定

本年度のCT内臓脂肪測定の受診者数は1,196人（男性577人、女性619人）で、前年度の3,149人と比べて1,953人減少している。この大幅な減少は、主にみらい健康調査対象者の違いによるものが大きく、前年度の対象者が2,529人であるのに対し、本年度の対象者は516人と2,013人少なかったことが挙げられる。

健診区分別受診者数を表1に、男女別の年代別受診者数を図1に、年代別の測定結果を表2に示した。健診区分別では協会けんぽが多く、年代別は男女ともには50歳代が多かった。

内臓脂肪面積が100cm²以上の場合は生活習慣の改善が必要とされており、男性においては40歳代以降の過半数がそれに該当していた。一方、女性は70歳代以降において過半数が該当していた。

表1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	280	737	179	1,196

図1 男女別の年代別受診者数

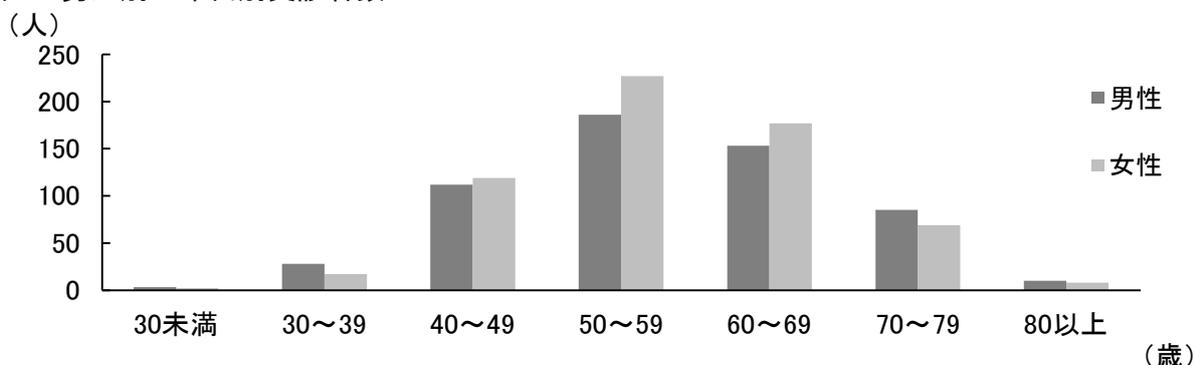


表2 年代別の測定結果

		受診者数	100 cm ² 未満 (%)	100 cm ² 以上 (%)
男性	20～29歳	3	2 (66.7)	1 (33.3)
	30～39歳	28	18 (64.3)	10 (35.7)
	40～49歳	112	53 (47.3)	59 (52.7)
	50～59歳	186	62 (33.3)	124 (66.7)
	60～69歳	153	54 (35.3)	99 (64.7)
	70～79歳	85	16 (18.8)	69 (81.2)
	80歳以上	10	2 (20.0)	8 (80.0)
	小計	577	207 (35.9)	370 (64.1)
女性	20～29歳	2	2 (100.0)	0 (00.0)
	30～39歳	17	14 (82.4)	3 (17.6)
	40～49歳	119	99 (83.2)	20 (16.8)
	50～59歳	227	164 (72.2)	63 (27.8)
	60～69歳	177	118 (66.7)	59 (33.3)
	70～79歳	69	25 (36.2)	44 (63.8)
	80歳以上	8	2 (25.0)	6 (75.0)
	小計	619	424 (68.5)	195 (31.5)
合計	1196	631 (52.8)	565 (47.2)	
前年度合計	3149	1787 (56.7)	1362 (43.3)	

5) 甲状腺ホルモン検査 (TSH・FT4)

本年度の受診者数は734人(男性205人、女性529人)で前年度の756人と比べ22人減少した。健診区分別受診者数を表1に、男女別・年代別の判定区分を表2に示した。結果の内訳をみると、甲状腺機能亢進疑いは47人(6.4%)、機能低下疑いは89人(12.1%)で、機能低下疑いの有所見率が高かった。男女別にみると、機能亢進疑いは男性16名(7.8%)、女性が31名(5.9%)、機能低下疑いは男性27名(13.2%)、女性62名(11.7%)だった。

表1 健診区分別受診者数

単位:人

健診区分	人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	214	438	82	734

表2 男女別・年代別の判定区分

単位:人 ()内%

		受診者数	異常なし	機能亢進疑い	機能低下疑い
男性	40歳未満	19	19	0 (0.0)	0 (0.0)
	40~49歳	52	43	6 (11.5)	3 (5.8)
	50~59歳	52	39	7 (13.5)	6 (11.5)
	60~69歳	49	36	2 (4.1)	11 (22.4)
	70~79歳	31	23	1 (3.2)	7 (22.6)
	80歳以上	2	2	0 (0.0)	0 (0.0)
	小計	205	162	16 (7.8)	27 (13.2)
女性	40歳未満	71	56	6 (8.5)	9 (12.7)
	40~49歳	150	126	7 (4.7)	17 (11.3)
	50~59歳	176	145	8 (4.5)	23 (13.1)
	60~69歳	84	70	6 (7.1)	8 (9.5)
	70~79歳	43	36	3 (7.0)	4 (9.3)
	80歳以上	5	3	1 (20.0)	1 (20.0)
	小計	529	436	31 (5.9)	62 (11.7)
合計	734	598	47 (6.4)	89 (12.1)	

6) 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 (Lox-index)

本年度の受診者数は 751 人（男性 459 人、女性 292 人）だった。健診区分別受診者数（男女別）を表 1 に示した。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分		人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	男性	184	256	19	459
	女性	132	124	36	292
	計	316	380	55	751

7) アレルギー検査 (MAST48mix)

本年度の受診者数は 394 人（男性 151 人、女性 243 人）だった。健診区分別受診者数（男女別）を表 1 に示した。

表 1 健診区分別受診者数

単位：人

健診区分		人間ドック	協会けんぽ	事業所・その他	計
受診者数	男性	42	85	24	151
	女性	46	134	63	243
	計	88	219	87	394

(11) 運動指導

人間ドックおよび特定健康診査受診者の中の希望者に対し、運動指導を実施していたが、コロナ禍以降の運動教室の再開に向けた開催方法を検討するため実施しなかった。

(12) 学生健診

本健診は、鶴岡市と三川町の学生を対象としている。

全ての項目において受診者数は前年度より減少している。

心電図検査は、小・中・高校ともに1年生全員の受診を原則としているが、それ以外の学年は学校で受診基準を決めている。

蟻虫卵検査については、本年度の受診者はいなかった。

尿検査

単位：人（）内%

区分		男子		女子		計	
		受診者数	陽性者数	受診者数	陽性者数	受診者数	陽性者数
保育園 幼稚園	蛋白	81	0 (0.00)	77	0 (0.00)	158	0 (0.00)
	糖		0 (0.00)		0 (0.00)		0 (0.00)
	潜血		0 (0.00)		3 (3.90)		3 (1.90)
小学校	蛋白	2,746	10 (0.36)	2,807	16 (0.57)	5,553	26 (0.47)
	糖		0 (0.00)		1 (0.04)		1 (0.02)
	潜血		12 (0.44)		49 (1.75)		61 (1.10)
中学校	蛋白	1,656	50 (3.02)	1,598	27 (1.69)	3,254	77 (2.37)
	糖		4 (0.24)		1 (0.06)		5 (0.15)
	潜血		21 (1.27)		48 (3.00)		69 (2.12)
高校	蛋白	1,981	64 (3.23)	1,860	26 (1.40)	3,841	90 (2.34)
	糖		7 (0.35)		5 (0.27)		12 (0.31)
	潜血		9 (0.45)		52 (2.80)		61 (1.59)
計	蛋白	6,464	124 (1.92)	6,342	69 (1.09)	12,806	193 (1.51)
	糖		11 (0.17)		7 (0.11)		18 (0.14)
	潜血		42 (0.65)		152 (2.40)		194 (1.52)

貧血検査

単位：人（）内%

区分	男子		女子		計	
	受診者数	要精密検査	受診者数	要精密検査	受診者数	要精密検査
中学校	1,364	24 (1.8)	1,273	69 (5.4)	2,637	93 (3.5)
高校	351	5 (1.4)	257	13 (5.1)	608	18 (3.0)
計	1,715	29 (1.7)	1,530	82 (5.4)	3,245	111 (3.4)

心電図検査

<1年生>

単位：人（）内%

区分	男子				女子				計			
	受診者数	異常なし	B判定	A判定	受診者数	異常なし	B判定	A判定	受診者数	異常なし	B判定	A判定
小学校	412	396 (96.1)	4 (1.0)	12 (2.9)	413	400 (96.9)	1 (0.2)	12 (2.9)	825	796 (96.5)	5 (0.6)	24 (2.9)
中学校	535	503 (94.1)	12 (2.2)	20 (3.7)	523	486 (92.9)	10 (1.9)	27 (5.2)	1,058	989 (93.5)	22 (2.1)	47 (4.4)
高校	749	667 (89.1)	30 (4.0)	52 (6.9)	599	560 (93.5)	18 (3.0)	21 (3.5)	1,348	1,227 (91.0)	48 (3.6)	73 (5.4)
計	1,696	1,566 (92.3)	46 (2.7)	84 (5.0)	1,535	1,446 (94.2)	29 (1.9)	60 (3.9)	3,231	3,012 (93.2)	75 (2.3)	144 (4.5)

<その他>

単位：人（）内%

区分	男子				女子				計			
	受診者数	異常なし	B判定	A判定	受診者数	異常なし	B判定	A判定	受診者数	異常なし	B判定	A判定
小学校	85	80 (94.1)	0 (0.0)	5 (5.9)	69	65 (94.2)	2 (2.9)	2 (2.9)	154	145 (94.2)	2 (1.3)	7 (4.5)
中学校	4	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3	2 (66.7)	0 (0.0)	1 (33.3)	7	6 (85.7)	0 (0.0)	1 (14.3)
高校	47	44 (93.6)	1 (2.1)	2 (4.3)	19	17 (89.4)	1 (5.3)	1 (5.3)	66	61 (92.5)	2 (3.0)	3 (4.5)
計	136	128 (94.2)	1 (0.7)	7 (5.1)	91	84 (92.3)	3 (3.3)	4 (4.4)	227	212 (93.4)	4 (1.8)	11 (4.8)

鶴岡市中学生胃がん予防事業

平成29年度より鶴岡市と鶴岡地区医師会が、鶴岡市の中学2年生を対象とした、学校尿検査検体でのピロリ検査・医療機関での二次検査と除菌治療を行っている。

本年度は在籍978人中、同意率72.1%の705人が「ピロリ抗体検査」を受診し32人が陽性となった。

(13) 一般健康診断（クリニック）

一般健康診断は毎月第2・第4水曜日の午後を実施しており、その内容は主として就職・進学のための健康診断である。本年度の受診者数は318人で、前年度284人より34人増加した。

(14) ストレスチェック

労働安全衛生法で従業員数50人以上の事業所において実施が義務付けられている。センターでは「職業性ストレス簡易調査票（57項目）」による調査票作成から判定・結果作成のほか、集団分析やセンター医師による面接なども行った。50人未満の事業所でも平成29年4月の改正により実施する事が出来るようになり対応した。

本年度は事業所の6,482人に実施し、前年度の7,367人より885人減少した。

(15) 風しん抗体検査

風しんの追加的対策（風しんの抗体検査及び予防接種法第5条第1項の規定に基づく風しんの第5期の定期接種）の実施にあたり、当センターでは人間ドック学会の集合契約に参加し平成31年4月～令和4年3月までの3年間、各種健康診断の際、市町村が発行したクーポン券を持参した方に対して風しん抗体検査（予防接種は実施せず）を実施した。クーポン券を使用した追加的対策は令和7年3月末まで延長されており、令和6年度の実施者数は6名であった。

(16) 受託検査

1) 一般臨床検査

本年度の依頼項目数は、210,250件で、前年度の210,957件より707件(0.3%)減少した。
 なお、セット項目については分割し、単項目に振り分けた件数である。

	検査項目	累計件数
生 化 学 検 査 I	総蛋白	7,810
	アルブミン	8,542
	総ビリルビン	4,668
	直接ビリルビン	77
	尿素窒素	11,377
	クレアチニン	15,022
	尿酸	6,670
	AST (GOT)	14,805
	ALT (GPT)	15,079
	ALP	8,529
	γ-GT	14,380
	LAP	17
	コリンエステラーゼ	4,575
	LDH	6,519
	CPK	305
	血清アミラーゼ	301
	中性脂肪	8,833
	総コレステロール	3,518
	HDL-コレステロール	7,062
	LDL-コレステロール	7,460
	Na・Cl	8,108
	K	8,432
	Ca	4,818
血清鉄	1,045	
フェリチン	462	
無機リン	2,368	
血糖	3,556	
尿糖	30	
生 化 学 検 査 II	Free-T3	782
	Free-T4	915
	TSH	1,050
	CEA	267
	AFP	69
	PSA	633

	検査項目	累計件数
血 液 学 的 検 査	血液一般(5項目)	11,111
	赤血球沈降速度(赤沈)	91
	網状赤血球数	86
	血液像	3,428
	好酸球数(鼻汁)	24
	グリコヘモグロビンA1c	5,731
尿 ・ 糞 便 等 検 査	一般定性	1,052
	沈渣	1,438
	蛋白定量	148
	集卵法	0
	虫卵セロファン法	0
	便潜血免疫1日法	26
	便潜血免疫2日法	558
	精液検査	4
免 疫 学 的 検 査	CRP(定量)	5,203
	RF	582
	HBs抗原(ICA)	820
	HBs抗原(CLEIA)	126
	HBs抗体(ICA)	21
	HBs抗体(CLEIA)	14
	HCV抗体(CLEIA)	945
	ABO式血液型	96
	Rh(D)血液型	96
	直接クームス試験	0
	間接クームス試験	0
	交差試験	2
	TP抗体	277
RPR(定性)	177	

委託検査 一般

	検査項目	累計件数
	尿中アルブミン	53
	蛋白分画	38
	MMP-3	510
	TRACP-5b	412
	シスタチンC	87
	マグネシウム	314
	亜鉛	275
	TIBC	121
	CA19-9	218
	BNP	514
	NT-proBNP	435
委託検査	PT	555
	APTT	261
	Dダイマー	415
	25OHビタミンD	131
	葉酸	214
	ビタミンB ₁₂	238
	非特異的IgE	314
	MAST36	198
	total P1NP	237
	KL-6	169
	抗CCP抗体	126
	血清補体価	71
	C3	66
	C4	64
	HBV DNA (IU)	174
	尿素呼気試験	485
	抗ヘリコバクター・ピロリ抗体	26
	抗核抗体	257
	その他	2,745

委託検査 細菌

	検査項目	累計件数
一般細菌	塗抹 グラム染色	114
	塗抹 KOH法(真菌)	16
	同定培養 口腔・気道	122
	同定培養 消化器	53
	同定培養 泌尿器・生殖器	343
	同定培養 その他の部位	749
	嫌気培養加算	7

委託検査 細菌

	検査項目	累計件数
一般細菌	大腸菌ベロドキシン	2
	大腸菌抗原同定	0
	ヘリコバクター培養	0
	ヘリコバクター感受性	0
	ディフィシル抗原	0
	薬剤感受性検査	932
抗酸菌群	塗抹 蛍光法	4
	分離培養	8
	分離培養(液体培地)	1
	核酸同定	3
	結核菌 感受性検査	0
保菌検査	MRSA	663
	検便培養検査	82
	大腸菌 O157	71
	大腸菌血清型同定	2

委託検査 病理

	検査項目	累計件数
病理組織	上部消化管	315
	下部消化管	553
	子宮腔部・頸部	167
	子宮内膜	15
	子宮内容物	70
	乳腺	4
	泌尿器	9
	皮膚・軟部組織	13
	口腔・歯科	4
	呼吸器系	0
	その他	47
細胞診	婦人科	2,580
	尿	1,293
	喀痰	15
	乳腺	16
	甲状腺	0
	体腔液	1
	その他	4

2) 共同利用検査

共同利用検査として、マンモグラフィ、X線撮影（胸部、腹部、骨の単純撮影）、CT内臓脂肪測定、骨密度測定、眼底検査、眼圧検査、心電図検査、肺機能検査、聴力検査を実施している。

本年度の受診者数は次のとおりである。

単位：人

	マンモグラフィ	X線撮影	CT内臓脂肪	骨密度	眼底	眼圧	心電図	肺機能	聴力
受診者数	284	84	0	25	65	0	0	0	0

3) 放射線漏洩線量測定

放射線管理区域（X線撮影室）の定期的な放射線漏洩線量測定については医療法施行規則で義務づけられており、当放射線係では平成19年より鶴岡・酒田両地区の登録医療機関より依頼を受けて本測定を実施している。

本年度の実施数は次のとおりである。

鶴岡地区		酒田地区	
施設数	測定回数	施設数	測定回数
41	76	3	6

※測定装置の貸出：鶴岡地区4件

4) 乳幼児健康診査

市町の3歳児健康診査における尿検査を受託している。本年度は鶴岡市および三川町で計31回、703人に実施した。

(17) 臨床検査精度管理調査

外部精度管理として、日本医師会精度管理調査をはじめ、日本臨床衛生検査技師会、山形県臨床検査技師会の臨床検査精度管理調査に参加している。日本医師会精度管理調査は、43項目に参加し、評価点数は99.5点であった。日本臨床衛生検査技師会、県臨床検査技師会においても良好な評価を得た。

[3] 令和6年度トピックス

1. 新オプション検査 頸動脈超音波検査の導入

オプション検査として、頸動脈超音波検査を開始した。偶数年齢の方を対象として、初年度の検査数は690件であった。また次年度に向けて軽度認知障害リスク検査のオプション化について検討を開始している。

2. 胃部X線検査精度管理調査

全国労働衛生団体連合会が実施している精度管理調査に参加し、「A評価」を得た。今後も高い評価を維持できるよう日々研鑽に努めていきたい。

3. 日本人間ドック・予防医学協会健診施設機能評価更新審査

平成26年度に認定を受けた「人間ドック健診施設機能評価」について、Ver3.Ver.4に続き、今年度はVer.5による認定更新を受審した。令和6年3月に専門員による実地調査を受け、令和7年6月に無事認定を更新することができた。今後も健診施設として更なる発展に努めていきたい。

4. マイナ保険証への対応

マイナ保険証による資格確認について、施設内外の健診で対応を行った。制度開始に伴う運用変更や職員への周知を進め、円滑な資格確認が行える体制を整備した。今後も制度動向を注視しながら、安定した運用を継続していく。

5. 健診スペースをLEDへ交換

環境負荷の低減および電気使用量の削減を目的として、健診スペースの照明をLEDへ更新した。

6. みらい健康調査12年目調査

2012年に登録した参加者約1,080名の12年目調査へ協力した。
(内臓脂肪、骨密度、血液・尿)

[4] 令和年6度学術活動業績報告

日本消化器がん検診学会 東北支部超音波研修委員会 第17回東北セミナー (2024年3月1日)
臨床検査課 佐藤綾

演題名:「全国労働衛生団体連合会主催の腹部超音波検査精度管理調査に参加して」

[5] 鶴岡地区医師会 関連施設

一般社団法人 鶴岡地区医師会

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34			
連絡先	電話番号	0235-22-0136	FAX番号	0235-25-0772
ホームページアドレス	https://tsuruoka-med.jp/			
メールアドレス	ishikai@tsuruoka-med.jp			

地域医療連携室 ほたる

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34			
連絡先	電話番号	0235-29-3021	FAX番号	0235-29-3022
ホームページアドレス	https://www.tsuruoka-hotaru.net/			
メールアドレス	hotaru@tsuruoka-med.jp			

在宅サービスセンター

訪問看護ステーション ハローナース

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34			
連絡先	電話番号	0235-25-3055	FAX番号	0235-25-3056
ホームページアドレス	https://tsuruoka-zaitakusc.jp/			
メールアドレス	hellonrs@proof.ocn.ne.jp			

訪問入浴介護

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34			
連絡先	電話番号	0235-28-1584	FAX番号	0235-28-1586
ホームページアドレス	https://tsuruoka-zaitakusc.jp/			

※令和7年4月より介護老人保健施設みずばしように移転

ケアプランセンター ふきのとう

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34			
連絡先	電話番号	0235-29-1255	FAX番号	0235-25-3231
ホームページアドレス	https://tsuruoka-med.jp/kanren/fukinotou/			
メールアドレス	fukinotou@feel.ocn.ne.jp			

地域包括支援センター つくし

所在地	〒997-0035 鶴岡市馬場町1-34			
連絡先	電話番号	0235-29-1256	FAX番号	0235-25-3231
ホームページアドレス	https://tsuruoka-med.jp/kanren/tsukushi/			
メールアドレス	tsukushi@swan.ocn.ne.jp			

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

所在地	〒997-0752 鶴岡市湯田川字中田35-10			
連絡先	電話番号	0235-38-5151	FAX番号	0235-38-5152
ホームページアドレス	https://yutagawa-med.jp/			
メールアドレス	yutagawa@orion.ocn.ne.jp			

介護老人保健施設 みずばしろう

所在地	〒997-0157 鶴岡市羽黒町後田字谷地田191-4			
連絡先	電話番号	0235-78-0951	FAX番号	0235-78-0952
ホームページアドレス	https://www.tsuruoka-rm.jp/			
メールアドレス	mizubasho@world.ocn.ne.jp			